

北本市

転入者・転出者アンケート 調査報告書

平成 28 年 2 月

埼玉県 北本市

目 次

| | | |
|-------|-------------------------|----|
| 1 | 概要 | 3 |
| 1.1 | 調査目的 | 3 |
| 1.2 | 調査概要 | 3 |
| 2 | 回答者プロフィール | 4 |
| 2.1 | 回答者プロフィール | 4 |
| 2.1.1 | 性別・年代 | 4 |
| 2.1.2 | 職業 | 4 |
| 2.1.3 | 通勤・通学先 | 6 |
| 2.1.4 | 北本市での居住地区 | 7 |
| 2.2 | 回答者の家族 | 8 |
| 2.2.1 | 転入者の家族 | 8 |
| 2.2.2 | 転出者の家族 | 9 |
| 2.2.3 | 子どもの就学状況 | 10 |
| 3 | 調査結果 | 11 |
| 3.1 | 地域移動 | 11 |
| 3.2 | 北本市の生活 | 12 |
| 3.2.1 | 北本市の居住期間 | 12 |
| 3.2.2 | 北本市居住の有無 | 13 |
| 3.2.3 | 北本市の住みやすさ | 14 |
| 3.2.4 | 居住地決定の際の重視点 | 15 |
| 3.2.5 | 定住意向 | 16 |
| 3.3 | 北本市の魅力 | 17 |
| 3.3.1 | 転入者が思う「北本市」 | 17 |
| 3.3.2 | 転出者が思う「北本市」 | 19 |
| 3.4 | 転入の理由 | 21 |
| 3.4.1 | 転入理由(全体) | 21 |
| 3.4.2 | 転入理由(性別、年代別) | 22 |
| 3.4.3 | 転入理由(20～40代の性別分析) | 23 |

| | |
|-----------------------------------|-----|
| 3.5 転出の理由..... | 2 4 |
| 3.5.1 転出理由（全体） | 2 4 |
| 3.5.2 転出理由（性別、年代別） | 2 5 |
| 3.5.3 転出理由（20～40 代の性別分析） | 2 6 |
| 3.6 転入転出時における他市町村比較 | 2 9 |
| 3.6.1 北本市と他市町村との比較 | 2 9 |
| 3.6.2 転入者が探した「住まいの候補地」 | 3 0 |
| 3.6.3 他の市町村も探した人の転入理由 | 3 1 |
| 3.6.4 他の市町村も探した転入者の定住・非定住理由 | 3 2 |
| 3.6.5 他の市町村も探した人の北本市居住経験..... | 3 3 |
| 3.7 住まいと転居..... | 3 4 |
| 3.7.1 住まいの形態 | 3 4 |
| 3.7.2 転入者の住まいの形態別にみる家族像..... | 3 6 |
| 3.7.3 転入後の住まいの形態別にみる転入理由..... | 3 8 |
| 3.7.4 転入後の住まいの形態別にみる定住意向..... | 3 9 |
| 3.8 住まい探しの情報源 | 4 1 |
| 3.8.1 住まい探しの情報源..... | 4 1 |
| 3.8.2 行政サービス、支援制度の確認状況 | 4 2 |
| 4 北本市への意見 | 4 3 |
| 4.1 転入者にみる自由意見（自由記述） | 4 3 |
| 5 調査票 | 4 4 |
| 5.1 転入者アンケート票 | 4 4 |
| 5.2 転出者アンケート票 | 5 1 |

おことわり：本報告書の図表中の数値は、小数点2位を四捨五入しているため、100%にならない場合があります

1 概要

1.1 調査目的

北本市では、同市の将来を考える人口ビジョン、地方版総合戦略を策定するにあたり、人口減少社会に対応した“より住みやすいまちづくり”と“定住できるまちづくり”をめざし、北本市に転入転出をした市民を対象とした調査を実施した。調査内容は、転居の理由、北本市の住みやすさとともに、その魅力やよい点などを明らかにし、今後の施策策定への参考とするものである。

1.2 調査概要

本調査の対象者は、平成 26 年 9 月 1 日～平成 27 年 8 月 31 日の期間中に、北本市に転入、転出した人を無作為に抽出し、転入者 1,000 人、転出者 1,000 人へ調査票を郵送。平成 27 年 10 月の期間中に返信された 773 件（転入者 412 件、転出者 361 件）を分析したものである。

調査の概要は、図表 1 の通り。

図表 1 北本市 転入・転出者向け「まちづくりアンケート」の概要

| | 転入者 | 転出者 |
|------|--------------|--------------|
| 対象者数 | 1,000 人 | 1,000 人 |
| 回収数 | 412 件 | 361 件 |
| 回収率 | 41.2% | 36.1% |
| 調査期間 | 平成 27 年 10 月 | 平成 27 年 10 月 |
| 調査方法 | 郵送法 | 郵送法 |

2 回答者プロフィール

2.1 回答者プロフィール

2.1.1 性別・年代

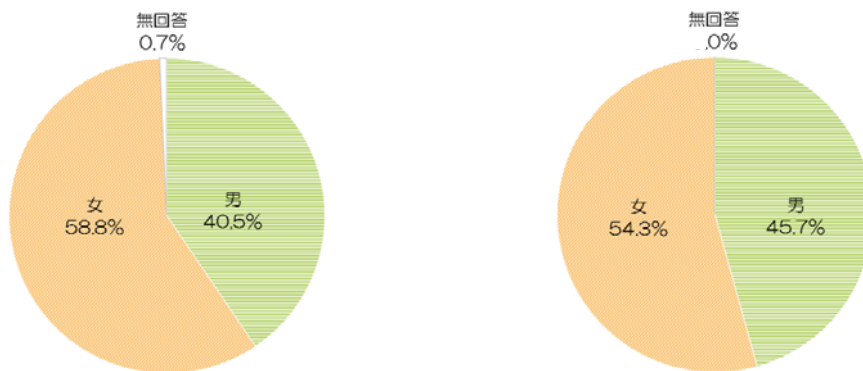
回答者のプロフィールは図表2～3の通り。

図表2 北本市 転入・転出者別にみる回答者の性別

| | 転入者 | 転出者 |
|---------|-------------------|-------------------|
| 回収数(n) | 412件 | 361件 |
| 回答者性別割合 | 男 40.5% / 女 58.8% | 男 45.7% / 女 54.3% |

《転入者》 n=412

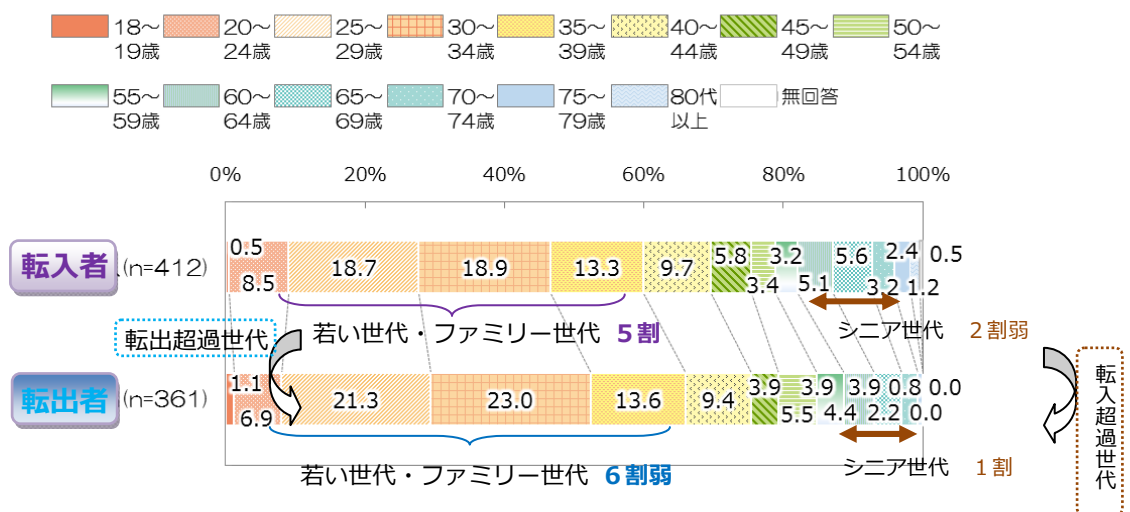
《転出者》 n=361



図表3 回答者の年代

《転入者》 n=412

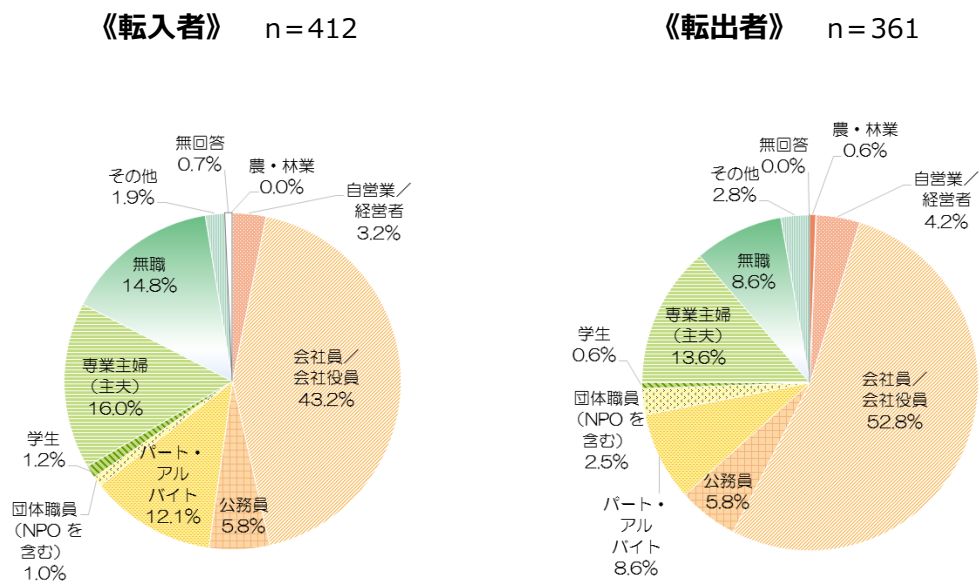
《転出者》 n=361



2.1.2 職業

回答者の職業は以下のとおり。

図表4 回答者の職業

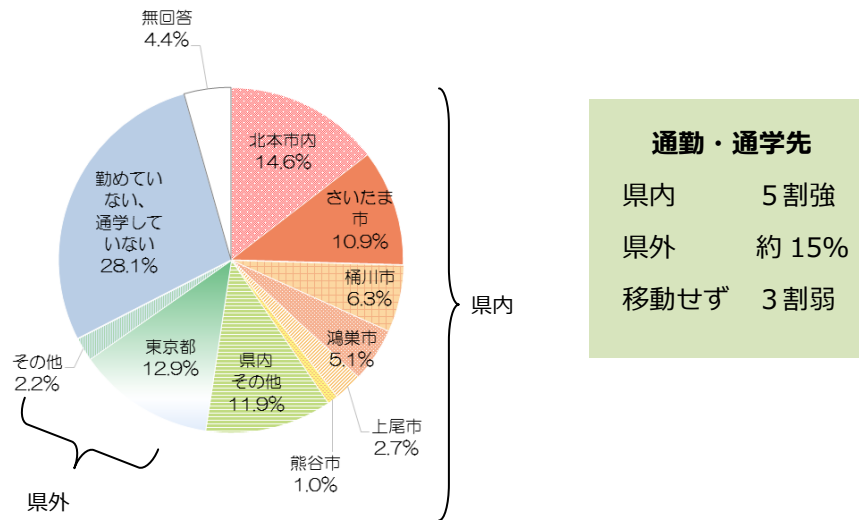


* 図表中の数値は、集計時に下二桁を四捨五入しているため、100%にならない場合があります

2.1.3 通勤・通学先

転入者に対しては、通勤・通学先を尋ねている。52.5%は「県内」に通勤・通学をしており、そのうち「北本市内」が14.6%と最も多く、次いで「その他県内」11.9%、「さいたま市」10.9%、「桶川市」6.3%、「鴻巣市」5.1%と続く。また、「県外」は全体で15.1%いるが、その内訳はほとんどが「東京」12.9%となっている。また、自宅勤務や無職など通勤・通学していない人たちは28.1%となっている。

図表5 《転入者》通勤先・通学先 n=412



2.1.4 北本市での居住地区

転入者の現在の北本市での居住地区と、転出者の北本市でのかつての居住地区について尋ねたものが以下のとおりである。

図表6 北本市内の地区（現在の居住地区と転出元）

《転入者》現在の居住地区 n=412

《転出者》転出元 n=361

| (%) | |
|------|-------|
| 居住地 | 割合 |
| 合計 | 100.0 |
| 深井 | 4.9 |
| 宮内 | 4.6 |
| 古市場 | 0.7 |
| 山中 | 0.0 |
| 本宿 | 4.4 |
| 北本 | 8.0 |
| 東間 | 14.1 |
| 朝日 | 5.6 |
| 北中丸 | 0.2 |
| 中丸 | 6.8 |
| 二ツ家 | 3.4 |
| 北本宿 | 3.4 |
| 下石戸上 | 0.5 |
| 下石戸下 | 4.6 |
| 石戸 | 2.2 |
| 石戸宿 | 1.7 |
| 荒井 | 1.0 |
| 栄 | 7.5 |
| 中央 | 6.6 |
| 緑 | 1.7 |
| 本町 | 5.3 |
| 高尾 | 2.4 |
| 西高尾 | 7.8 |
| 無回答 | 2.7 |

| (%) | |
|------|-------|
| 転出元 | 割合 |
| 合計 | 100.0 |
| 深井 | 6.4 |
| 宮内 | 6.4 |
| 古市場 | 0.6 |
| 山中 | 0.6 |
| 本宿 | 7.2 |
| 北本 | 7.8 |
| 東間 | 11.6 |
| 朝日 | 3.9 |
| 北中丸 | 0.3 |
| 中丸 | 6.4 |
| 二ツ家 | 7.2 |
| 北本宿 | 1.9 |
| 下石戸上 | 1.7 |
| 下石戸下 | 6.9 |
| 石戸 | 3.3 |
| 石戸宿 | 1.1 |
| 荒井 | 0.3 |
| 栄 | 6.6 |
| 中央 | 5.0 |
| 緑 | 2.5 |
| 本町 | 4.4 |
| 高尾 | 1.4 |
| 西高尾 | 5.8 |
| 無回答 | 0.8 |

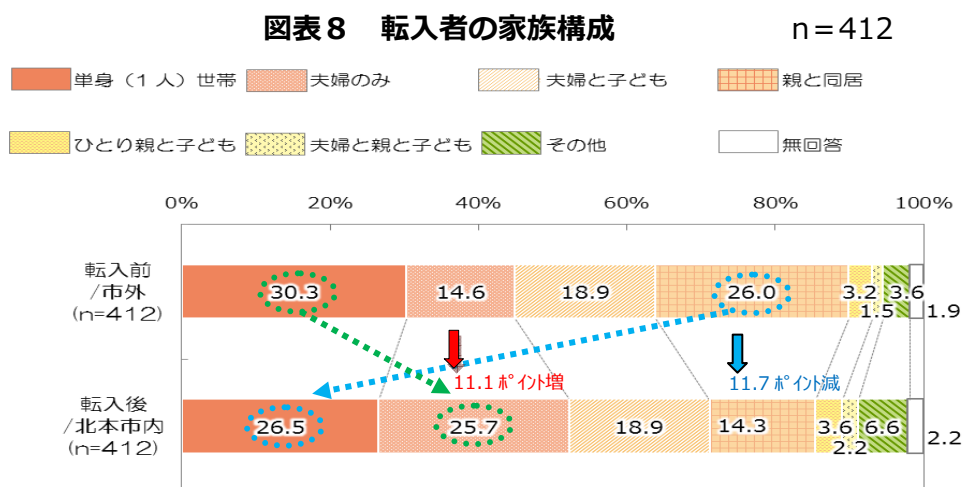
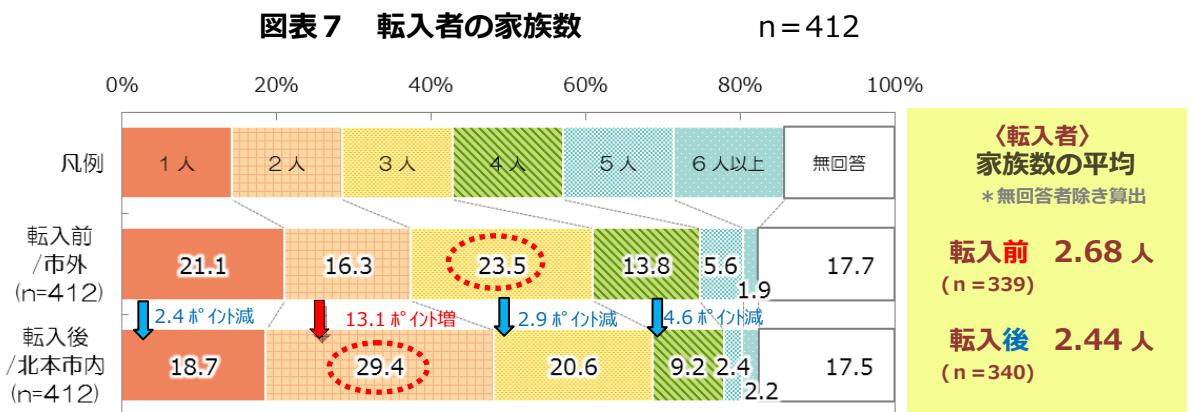
2.2 回答者の家族

2.2.1 転入者の家族

転入者の家族数は、転入前は「3人」が23.5%と最も多く、次いで「1人」21.1%、「2人」16.3%、転入後は「2人」29.4%、「3人」20.6%、「1人」18.7%となっている。無回答を除いた家族数の平均は、転入前が2.68人、転入後が2.44人と減少しており、少人数家族の割合が微増したことが影響している。また、転入前と転入後で変化が大きい区分は「2人」で、転入前の16.3%が転入後は29.4%と13.1ポイント増となっている。家族構成の変化をふまえると結婚による北本市への転入が推察される。

転入者の家族構成では、転入前は「単身（1人）世帯」が30.3%と最も多く、次いで「親と同居」26.0%と続く。転入後は、「単身（1人）世帯」が1位のままであるが30.3%から26.5%へ減少し、「親と同居」は26.0%から14.3%と11.7ポイント減少している。一方、「夫婦のみ」が14.6%から25.7%と11.1ポイント増加している。

転入者の家族構成と人数の変化から、北本市への転入者の家族構成の特徴は、親元を離れ単身となった世帯、結婚を機に夫婦として転入してきた世帯となっている。

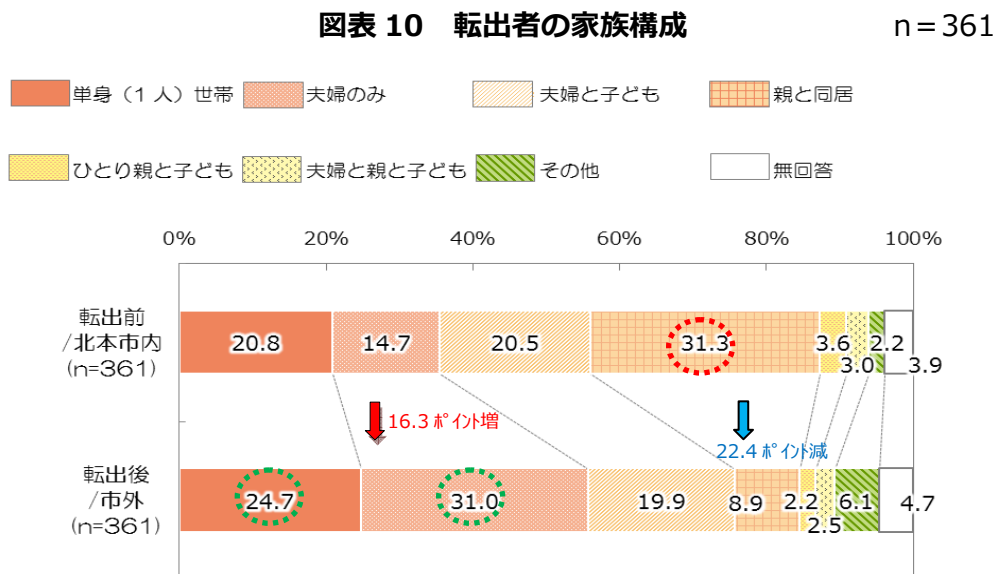
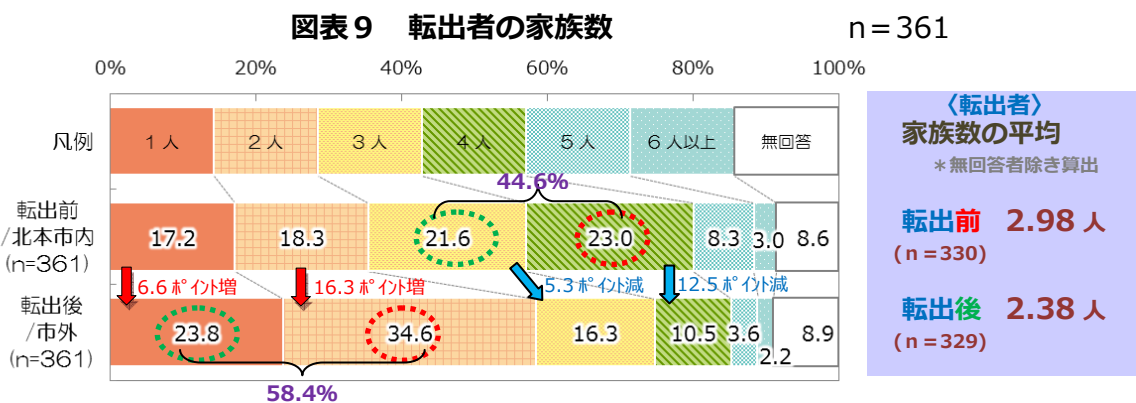


2.2.2 転出者の家族

転出者の家族数は、転出前は「4人」23.0%、「3人」21.6%、「2人」18.3%、「1人」17.2%と続き、多人数の家族像がみえてくる。転出後は「2人」34.6%、「1人」23.8%、「3人」16.3%となっている。無回答を除いた家族数の平均は、転出前が2.98人、転出後は2.38人と0.6人減少となっている。また、転出前と転出後で変化が大きい区分は「2人」で、転出前の18.3%が転出後は34.6%と16.3ポイント増となっている。家族構成の変化をふまえると結婚による北本市からの転出が推察される。

転出者の家族構成をみると、転出前は「親と同居」が31.3%と最も多く、次いで「単身者」20.8%、「夫婦と子ども」が20.5%と続く。転出後は「夫婦のみ」31.0%と「単身世帯」24.7%と核家族が上位を占める。特に「単身(1人)世帯」と「夫婦のみ」を合わせた割合については、転出前の35.5%が転出後は55.7%と20.2ポイント増加していることが特徴となっている。

転出者の家族構成と人数の変化から、**転出者の家族構成の特徴は、進学、就職等の家族からの独立、結婚による新たな家族形成のために北本市から転出したと推察できる。**



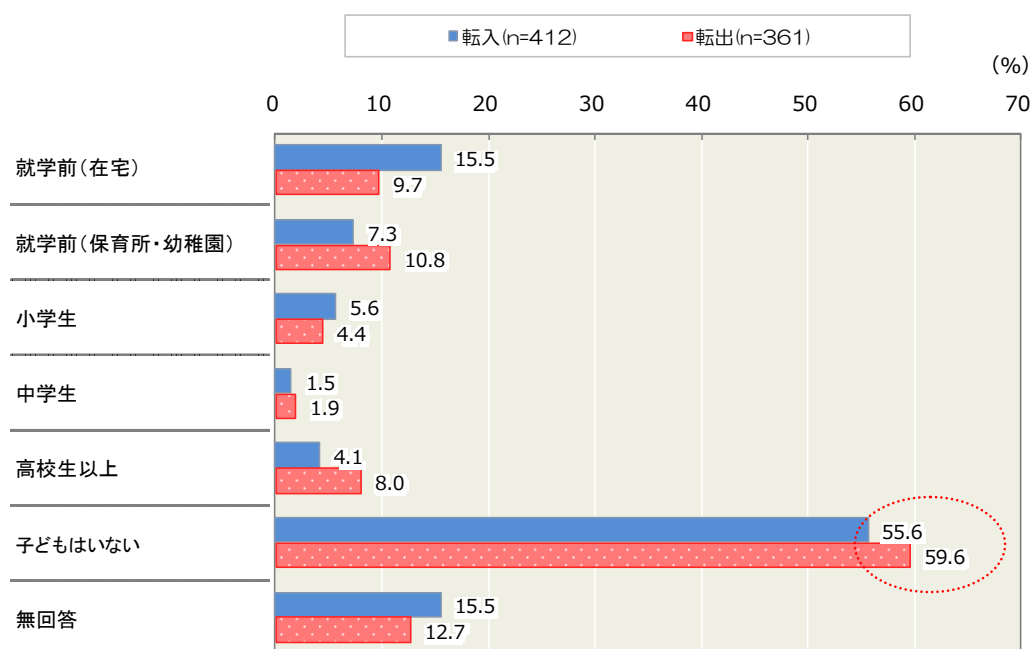
2.2.3 子どもの就学状況

転入者の半数が 20 代後半～30 代後半で、4 割強が会社員となっている。また家族構成からみると、「子どもはいない」が 55.6%、「就学前（在宅）」15.5%であり、単身世帯や夫婦 2 人だけの世帯とともに、子どもが小さい（乳幼児）世帯が多いことがわかる。

転出者は転入者よりもやや若い層の 20 代後半～30 代前半で、半数以上が会社員となっている。また家族構成からみると、「子どもはいない」が 59.6%、「就学前（保育園・幼稚園）」10.8%、「就学前（在宅）」9.7%となっている。

子どもの有無に関する特徴としては、**転入転出ともに「子どもはいない」が非常に多く、次いで「就学前」が多いという特徴**となっている。

図表 11 転居時の子どもの就学状況 [複数回答]



3 調査結果

3.1 地域移動

転入者がいずれの地域から引越をしてきたかを尋ねた設問で、転入元が「県内」は 55.8%、「県外」が 42.2%となっている。

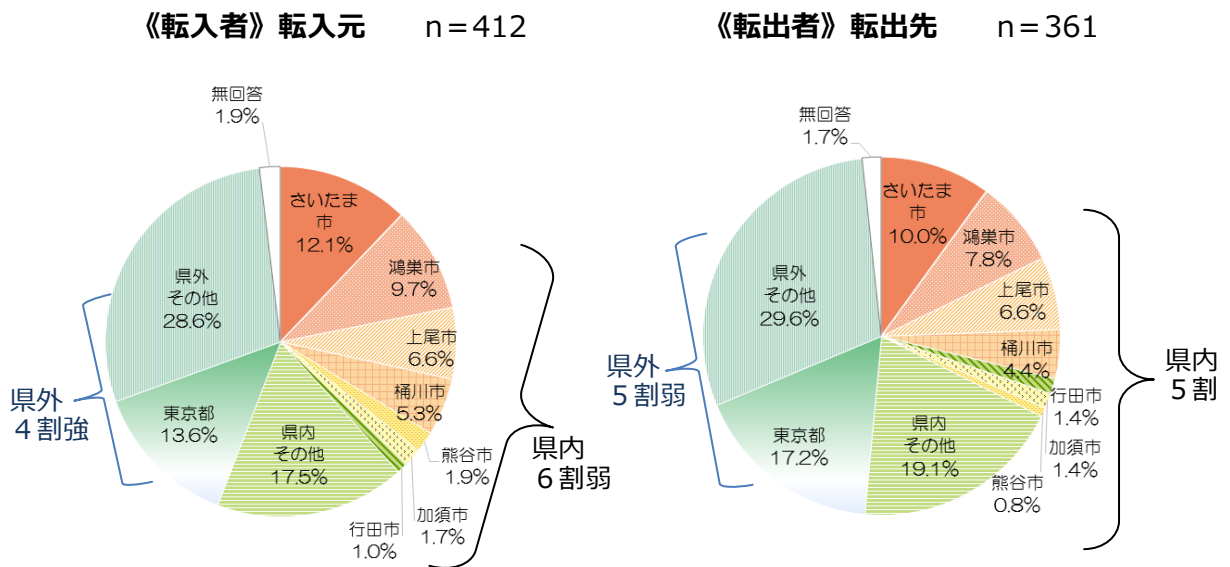
県内 6 割弱のうち、「県内その他」17.5%、「さいたま市」12.1%、「鴻巣市」9.7%、「上尾市」6.6%、「桶川市」5.3%、「熊谷市」「加須市」「行田市」が 1%台と続いている。

県外 4 割強の内訳は、「県外その他」28.6%、「東京都」13.6%となっている。

転出者の転出先は、「県内」が 51.5%、「県外」が 46.8%となっている。

県内の内訳は、「県内その他」19.1%、「さいたま市」10.0%、「鴻巣市」7.8%、「上尾市」6.6%、「桶川市」4.4%、「行田市」「加須市」が同数の 1.4%、「熊谷市」0.8%となっている。

図表 12 移動



3.2 北本市の生活

3.2.1 北本市の居住期間

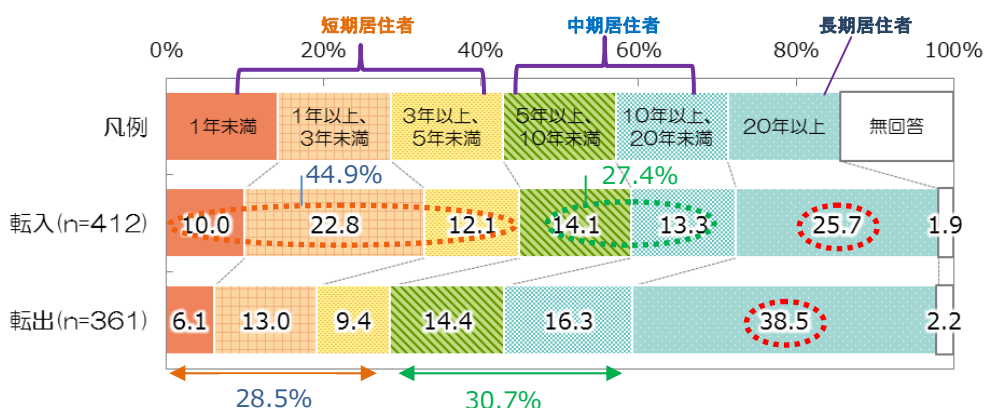
北本市への転入者の前居住地(転入元)での居住年数は、『短期居住者(5年未満)』が44.9%、『中期居住者(5～20年未満)』が27.4%、『長期居住者(20年以上)』が25.7%となっている。内訳は、短期居住者は「1年未満」10.0%、「1～3年未満」22.8%、「3～5年未満」12.1%、中期居住者は「5～10年未満」14.1%、「10～20年未満」13.3%、長期居住者は「20年以上」25.7%である。

北本市の転入者の傾向としては、短期間(1～5年)で前居住地から転入した人が半数近くいることが挙げられる。また、長期(20年以上)で前居住地から転入した人も25.7%と多くなっている。前居住地から短期間(1～5年)で転入した人は転勤や住居見直しと推測される。長期(20年以上)で前居住地から転入した人は、進学、就職、結婚等による家族からの独立と推察される。

転出者の北本市居住年数は、『短期居住者(5年未満)』が28.5%、『中期居住者(5～20年未満)』が30.7%、『長期居住者(20年以上)』が38.5%となっている。内訳は、短期居住者は「1年未満」6.1%、「1～3年未満」13.0%、「3～5年未満」9.4%、中期居住者は「5～10年未満」14.4%、「10～20年未満」16.3%、長期居住者は「20年以上」38.5%である。

転出者の北本市居住年数の傾向としては、長期(20年以上)居住者の転出が4割近くとなっていることが挙げられる。長期(20年以上)居住者の転出は、進学、就職、結婚等による家族からの独立と推察される。

図表 13 転入元での居住期間、北本市における居住期間

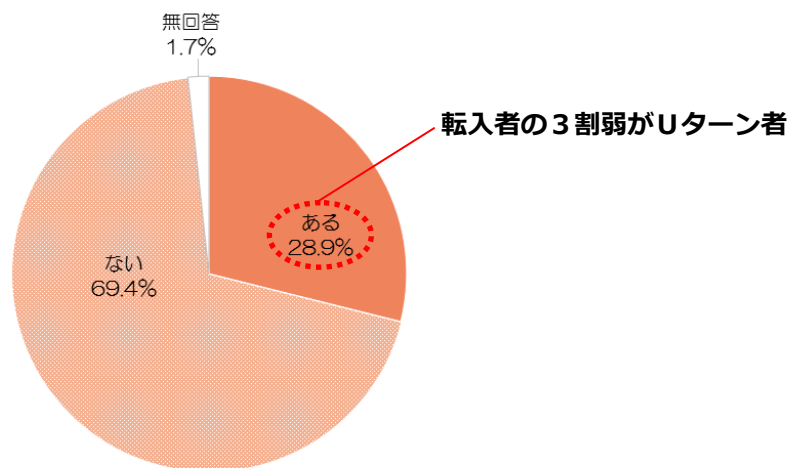


3.2.2 北本市居住の有無

転入者に「過去に、北本市で居住した経験」の有無を尋ねたところ、「あり」と回答した人は28.9%となっており、**転入者の3割弱がUターン者**となっている。

「なし」と回答した人は69.4%となっており、約7割の人は、新規居住者となっている。

図表 14 《転入者》過去の北本市における居住経験 n=561

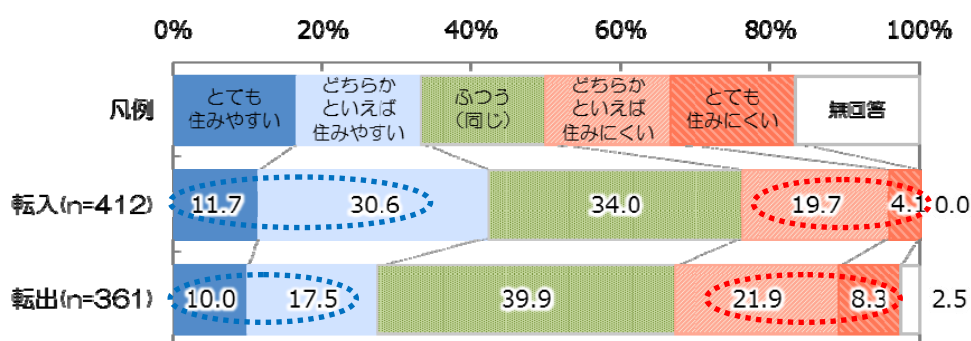


3.2.3 北本市の住みやすさ

転入者に北本市の住みやすさについて尋ねた結果、「とても住みやすい」11.7%と「どちらかといえば住みやすい」30.6%を合わせた“肯定意見”の合計が4割強となっている。一方、「とても住みにくい」4.1%と「どちらかといえば住みにくい」19.7%と合わせた“否定意見”の合計は約2割強であり、肯定意見が否定意見を約20ポイント上回っている。

また、転出者に北本市と現在の住まいとの住みやすさを尋ねた結果、「(北本市のほうが)とても住みやすかった」10.0%と「どちらかといえば住みやすかった」17.5%を合わせた“肯定意見”の合計が3割弱となっている。一方、「(北本市のほうが)とても住みにくかった」8.3%と「どちらかといえば住みにくかった」21.9%を合わせた“否定意見”の合計は約3割となっており、やや否定意見が上回るものの、拮抗している状況といえる。

図表 15 北本市と他市との住みやすさ比較



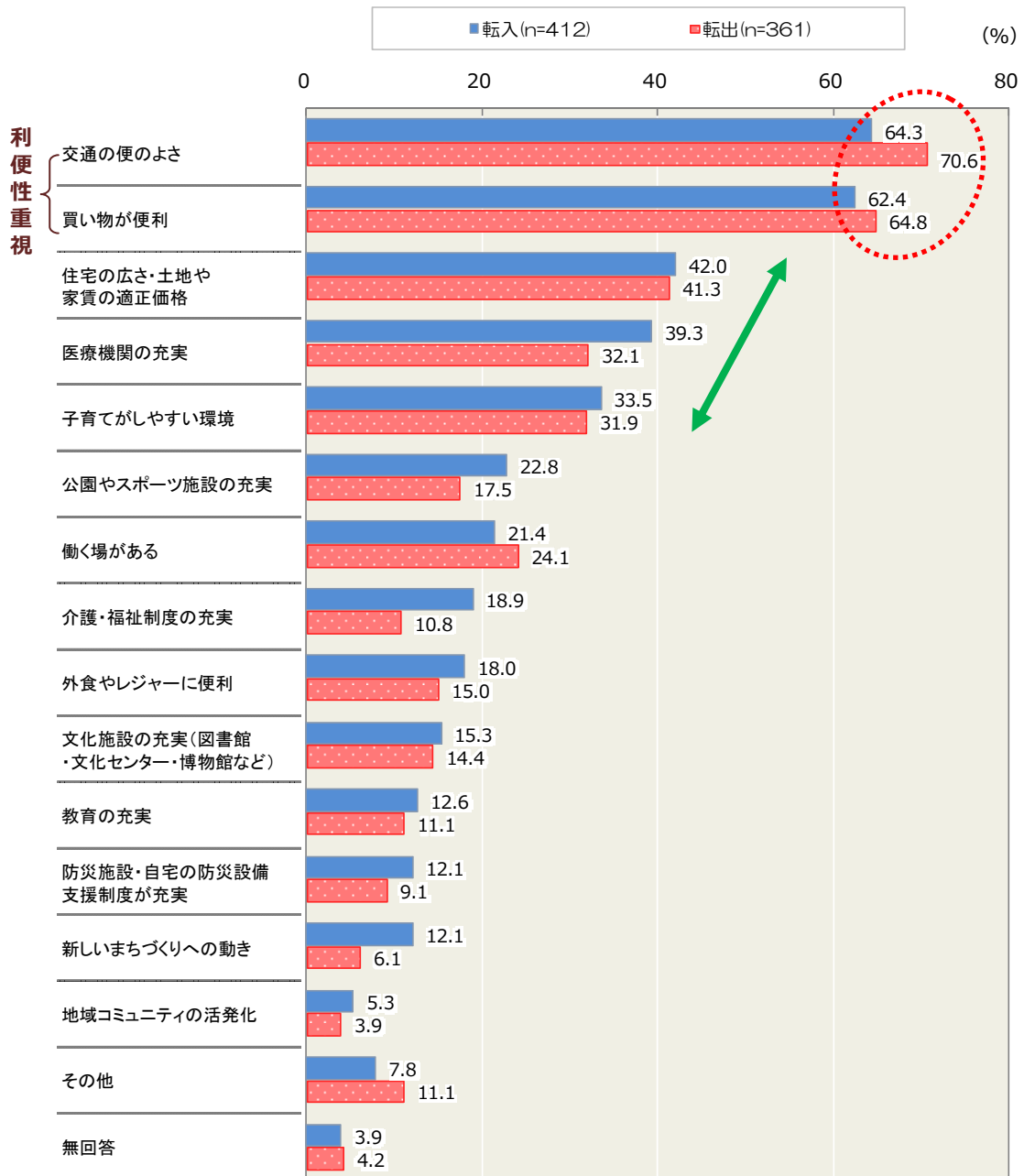
転入者：“北本市肯定意見” 42.3% > “否定意見” 23.8%

転出者：“北本市肯定意見” 27.5% < “否定意見” 30.2%

3.2.4 居住地決定の際の重視点

居住地を決定する際の重視点として、転入者、転出者ともに上位項目は同じ傾向となっている。「交通の便のよさ」、「買い物が便利」が60%を超え上位2項目となっている。次いで、「住宅の広さ・土地や家賃の適正価格」が40%台、「医療機関の充実」「子育てがしやすい環境」が30%台で3～5位を占めている。

図表 16 居住地決定の際の重視する点



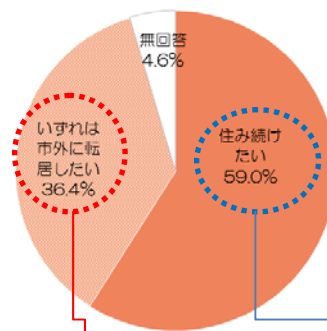
3.2.5 定住意向

転入者に、北本市への定住意向について尋ねた結果、「北本市に住み続けたい」が 59.0%となり、「市外に転居したい」36.4%を大幅に上回っている。

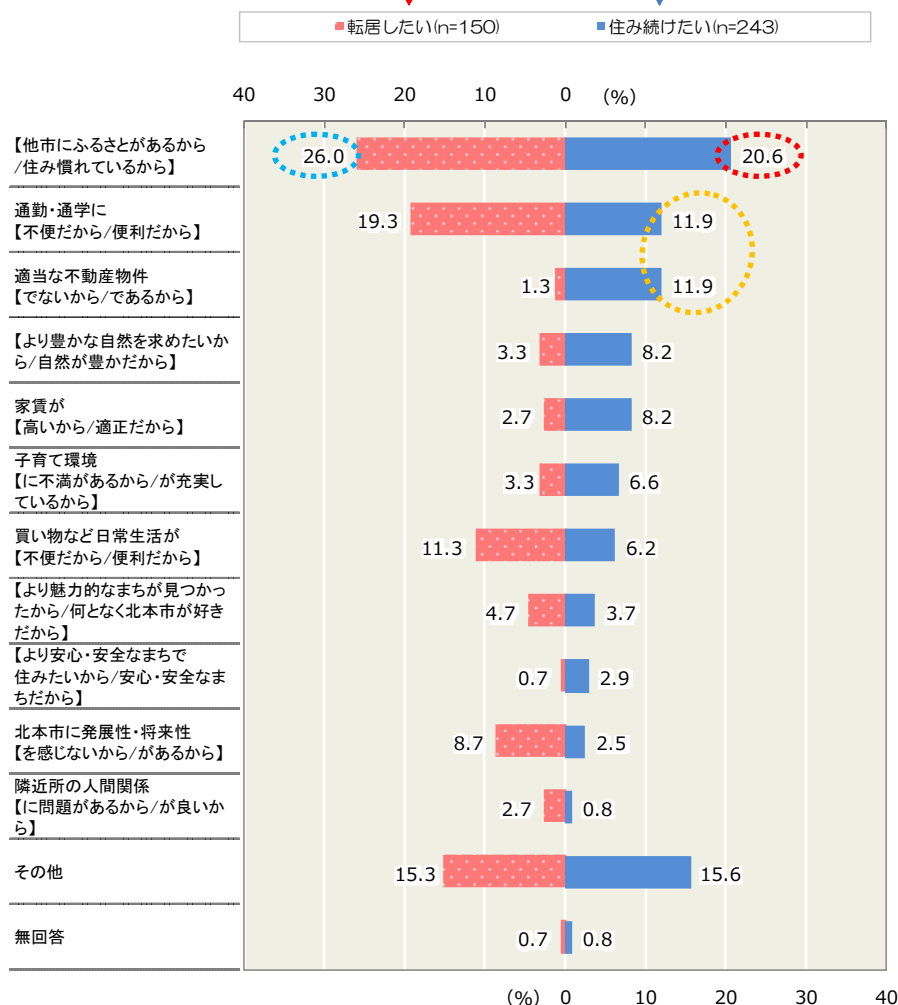
「(北本市に) 住み続けたい」理由の上位は「住み慣れているから」20.6%、同数の「通勤、通学に便利だから」「適当な不動産物件だから」11.9%となっている。

「(北本市外に) いずれ転居したい」理由の上位は「他市にふるさとがあるから」26.0%、「通勤、通学に不便だから」19.3%となっている。

図表 17 転入者の北本市における定住意向 n=412



図表 18 北本市に住み続けたくない理由／住み続けたい理由



3.3 北本市の魅力

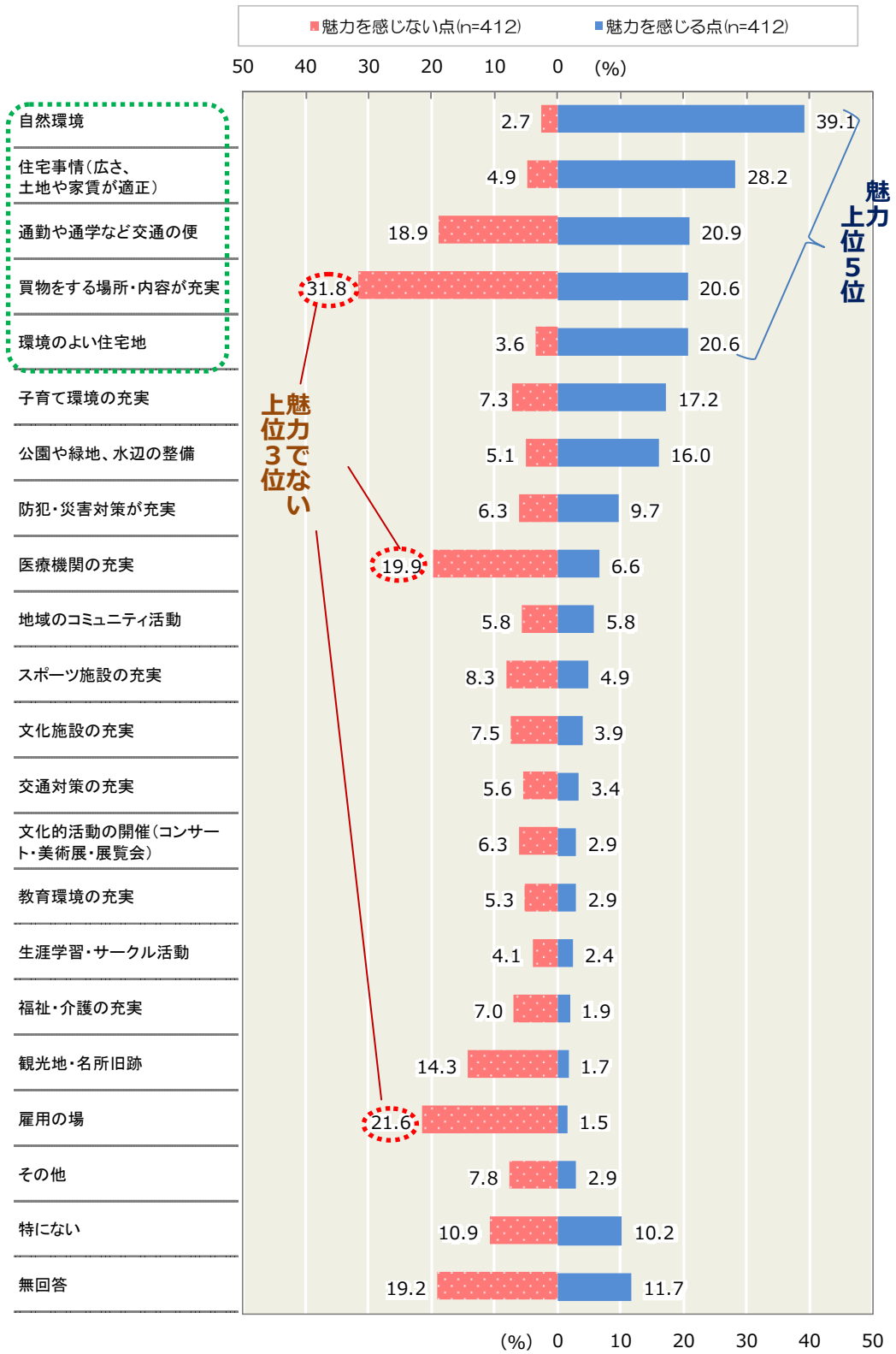
3.3.1 転入者が思う「北本市」

北本市に魅力を感じる点・魅力を感じない点を、転入者・転出者ともに3つまで複数回答として挙げてもらったところ、転入者が北本市に**魅力を感じる点は、「自然環境」が最も多く39.1%**、「住宅の広さ、土地が適正価格、家賃など住宅事情」28.2%、次いで「通勤や通学などの交通の便」が20.9%、同数の「買物をする場所・内容が充実」、「環境のよい住宅地」20.6%と続いている。

一方、**魅力を感じない点は、「買物をする場所・内容が充実」31.8%**、「雇用の場」21.6%、「医療機関の充実」19.9%が上位に挙げられ、「通勤や通学などの交通の便」18.9%と続いている。1位に挙げられた「買い物をする場所・内容が充実」は、魅力の4位に挙げられるも、魅力でないほうが約10ポイント上回っている。

転入者の多くが、自然豊かな環境、そして住宅地である北本市に魅力を感じているものの、雇用の場がないこと、日常生活の場面では買い物や医療機関には不便さを感じていることが推察される。

図表 19 《転入者》北本市の魅力度（魅力である点と魅力でない点） n=412



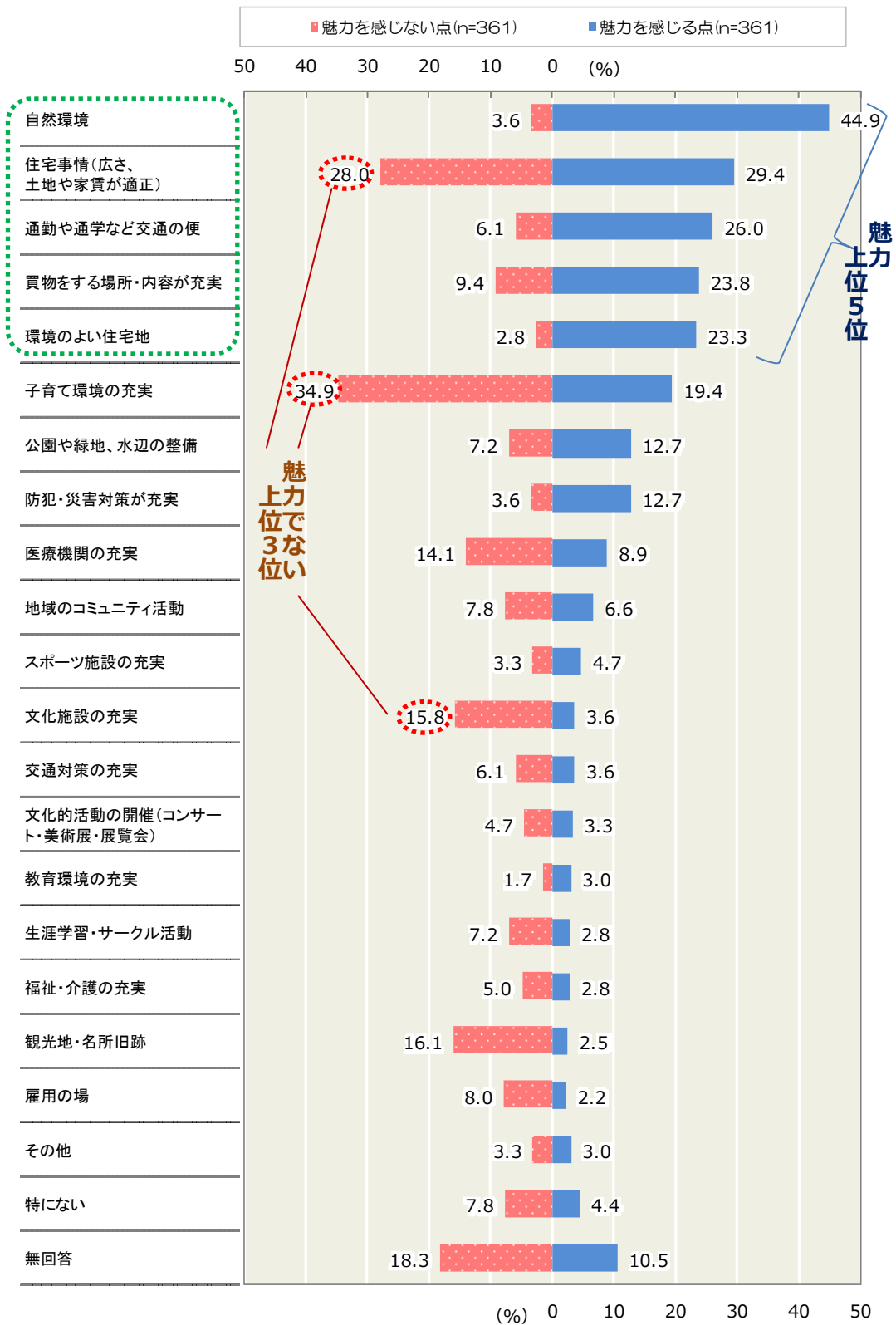
3.3.2 転出者が思う「北本市」

転出者が北本市に**魅力を感じる点**は、「**自然環境**」が **44.9%**と最も多く、2位以下には「住宅事情」29.4%、「通勤や通学などの交通の便」26.0%が挙げられている。次いで、「買物をする場所・内容が充実」が23.8%、「環境のよい住宅地」23.3%と続いている。

一方、**魅力を感じない点**は「**子育て環境の充実**」**34.9%**、「住宅事情」28.0%、「文化施設」15.8%が上位3項目に挙げられている。

「**住宅事情**」は**魅力の2位**であるが、**魅力でない2位**にも挙げられており、転出者のなかで二分する形になっている。また、「子育て環境の充実」については**魅力でない点の1位**であり、**魅力の6位**と比較すると、**魅力でないとする人のほうが上回っている**。

図表 20 《転出者》北本市の魅力度（魅力である点と魅力でない点） n=361



3.4 転入の理由

3.4.1 転入理由(全体)

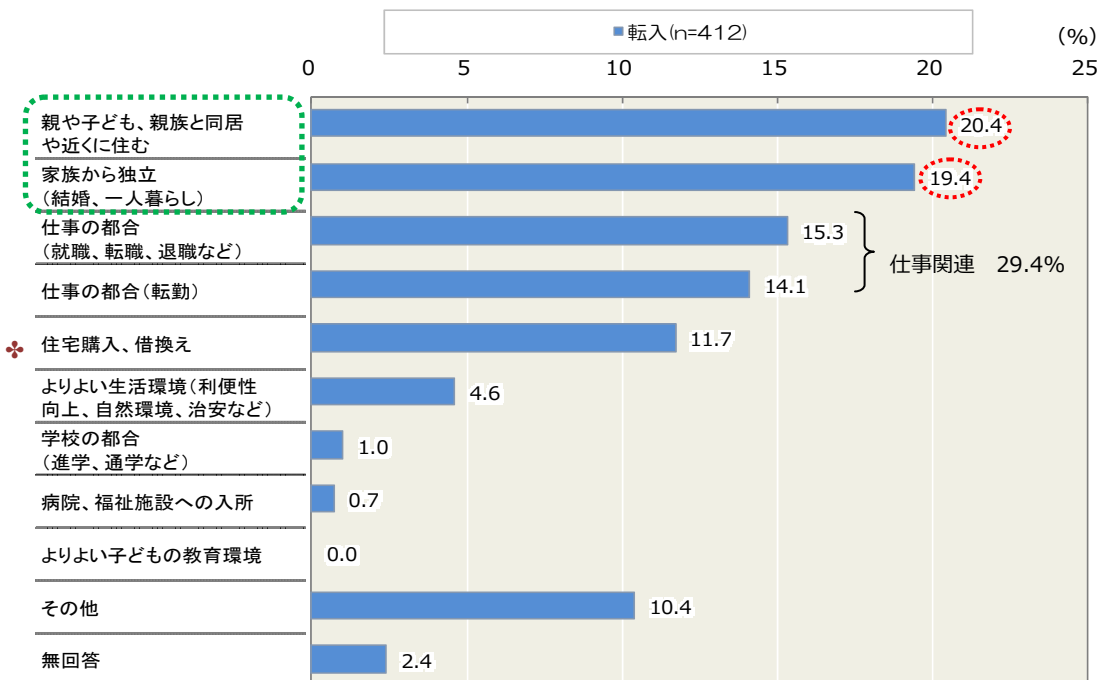
一般的に転居理由の多くは、転勤や就職・転職、退職などの「仕事都合」の占める割合が大きいが、それ以下に挙げられる項目は移動時の地域選定の「地域の魅力」と大きく関わってくる。

北本市における転入理由の傾向については、「**親や子ども、親族との同居、または近くに住むため**」が最も多く **20.4%**、次いで「**家族からの独立（結婚、一人暮らし）**」19.4%と家族関連の項目が上位に並んだ。続いて3位に「**仕事の都合（就職、転職、退職など）**」15.3%、4位に「**仕事の都合（転勤）**」14.1%で仕事関連は合わせて約3割となっている。また、東京から50 km圏の距離のベッドタウンであるが、「**住宅購入、借換え**」は11.7%で移転理由5位となっている。

北本市への転入の特徴としては、各種分析結果より下記のケースが考察できる。

- 20～30代が「家族から独立」して結婚や一人暮らしをはじめめるケース
- 30～40代の子育て世代の女性(※1)が実家またはその近くへ転入してくるケース
- 60代が子ども世帯と同居または近居するかたちで転入してくるケース

図表 21 《転入者》転居の理由



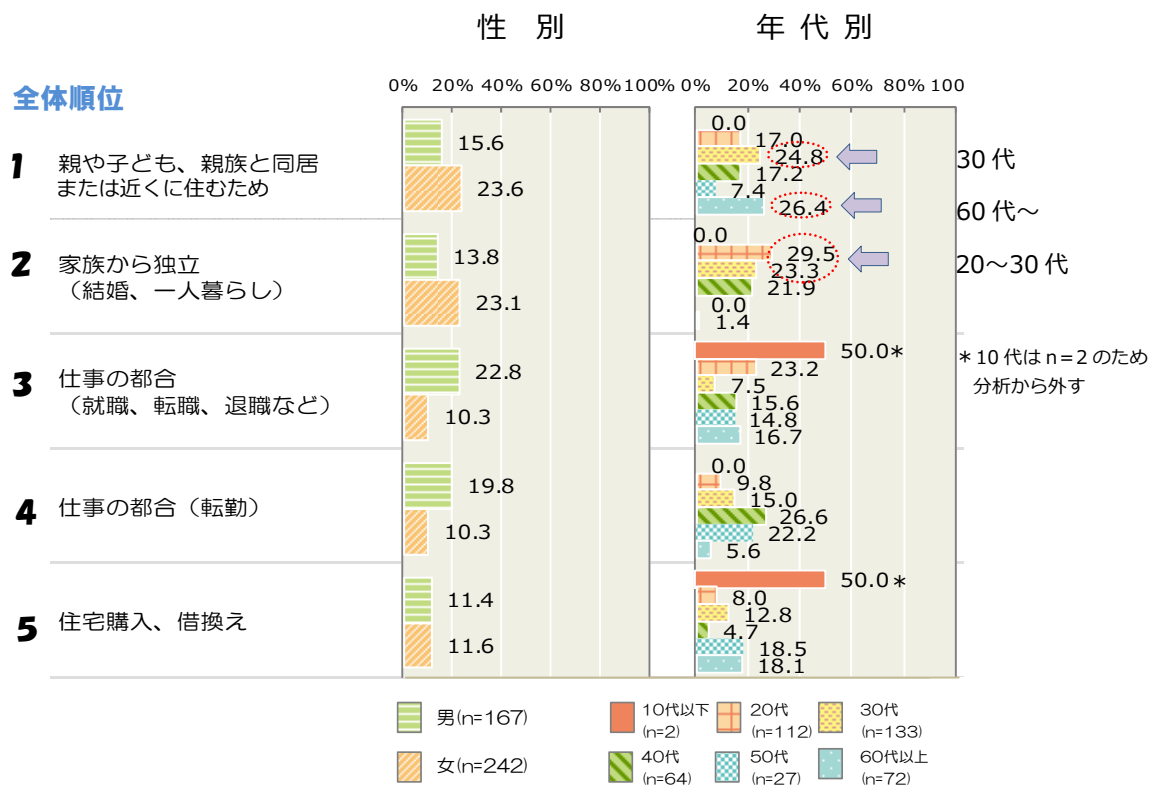
※1：上記補完データとして図表 11. こどもの就学状況を参照
 転入時の同居の子どもの就学状況をみると、「子どもはいない」55.6%、「就学前（在宅）」15.5%、「就学前（保育所・幼稚園）」7.3%と上位を占めている。

3.4.2 転入理由(性別、年代別)

性別ごとに転入理由をみると、「親や子ども、親族との同居、または近くに住むため」、「家族からの独立（結婚、一人暮らし）」等の**家族要因は女性のほうが約 10 ポイント高くなっている**。「仕事の都合（就職、転職、退職など）」、「仕事の都合（転勤）」等の**仕事都合の要因は男性が約 10 ポイント高くなっている**。

また年齢別に転入理由をみると、**60代の4分の1強が「子どもとの同居、近居」、30代の4分の1が「親との同居、近居」**で北本市へ転入してきている。

図表 22 《転入者》性別・年代別にみた、転居の理由 n = 412



3.4.3 転入理由(20~40代の性別分析)

回答者属性で7割を占める20~40代について、年代及び性別での転入理由について詳細に整理した。

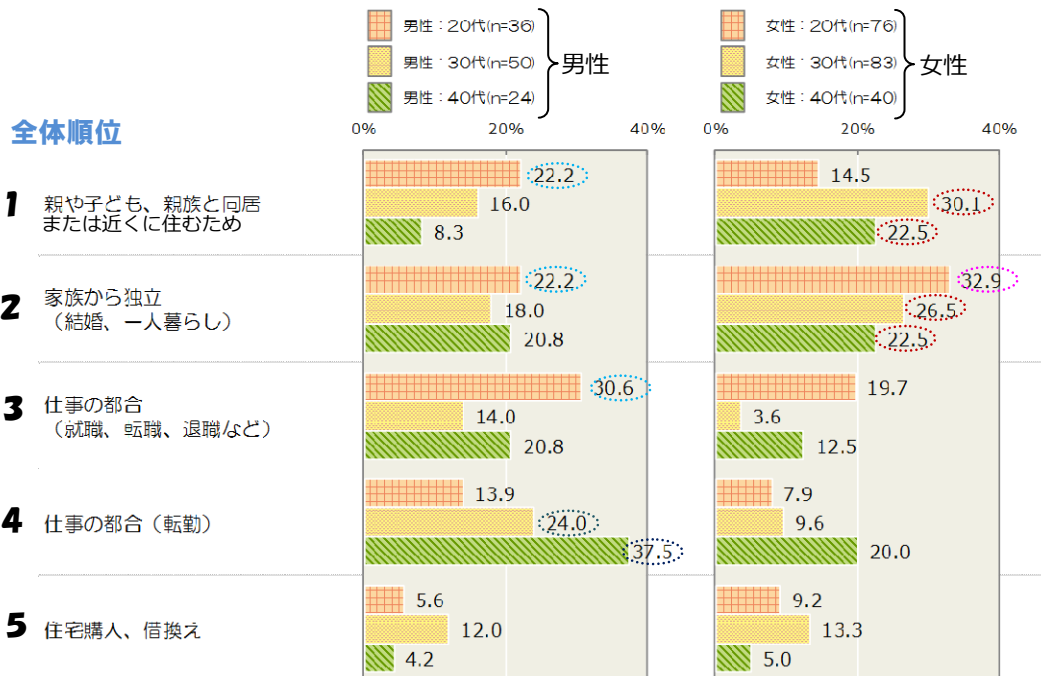
20代女性は「家族からの独立（結婚・一人暮らし）」が32.9%で1位、30代女性は「親や子ども、親族と同居または近くに住むため」が30.1%で1位、40代女性は「家族からの独立（結婚・一人暮らし）」、「親や子ども、親族と同居または近くに住むため」が22.5%で同率1位となっている。

北本市の20~40代女性の転入理由の特徴としては、『家族からの独立』が多く、30代40代女性は『親族との同居・近居』となっている。

20代男性は「仕事の都合（就職、転職、退職等）」が30.6%で1位、30代男性は「仕事の都合（転勤）」が24.0%で1位、40代男性は「仕事の都合（転勤）」が37.5%で1位となっている。

北本市の20~40代男性の転入理由の特徴としては、20代男性は『就職(仕事都合)』『親族との同居・近居』、『家族からの独立』、30代40代男性は『転勤（仕事都合）』となっている。

図表 23 《転入者》20~40代の転居の理由 n = 412



3.5 転出の理由

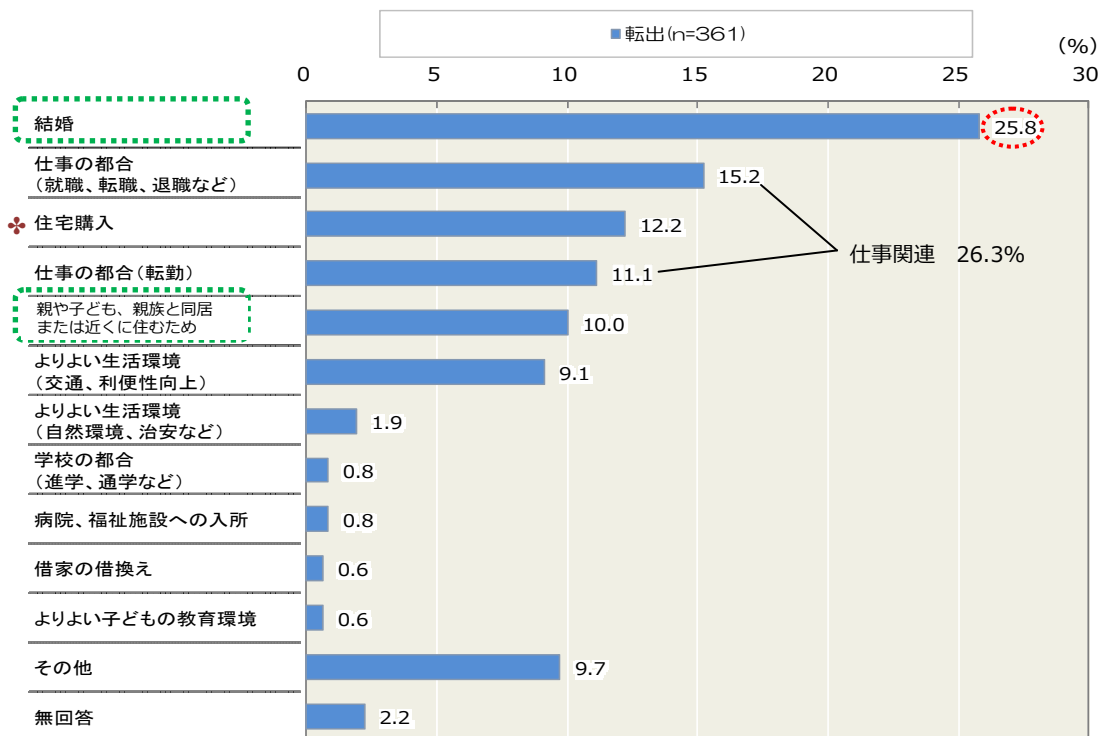
3.5.1 転出理由（全体）

北本市における転出理由の傾向については、家族要因の「結婚」が25.8%と最も多くなっている。次いで仕事要因の「仕事の都合（就職、転職、退職など）」と「転勤」の合計が26.3%となっている。3位は「住宅購入」12.2%、5位に「親や子ども、親族と同居・近居」が10.0%となっている。

北本市からの転出の特徴としては、各種分析結果より下記のケースが考察できる。

- 20～30代が結婚によって市外で家族形成するために転出するケース
- 男性が仕事要因（就職、転勤等）で市外へ転出するケース
- 住宅購入・借家の借換えのために市外へ転出するケース

図表 24 《転出者》転居の理由



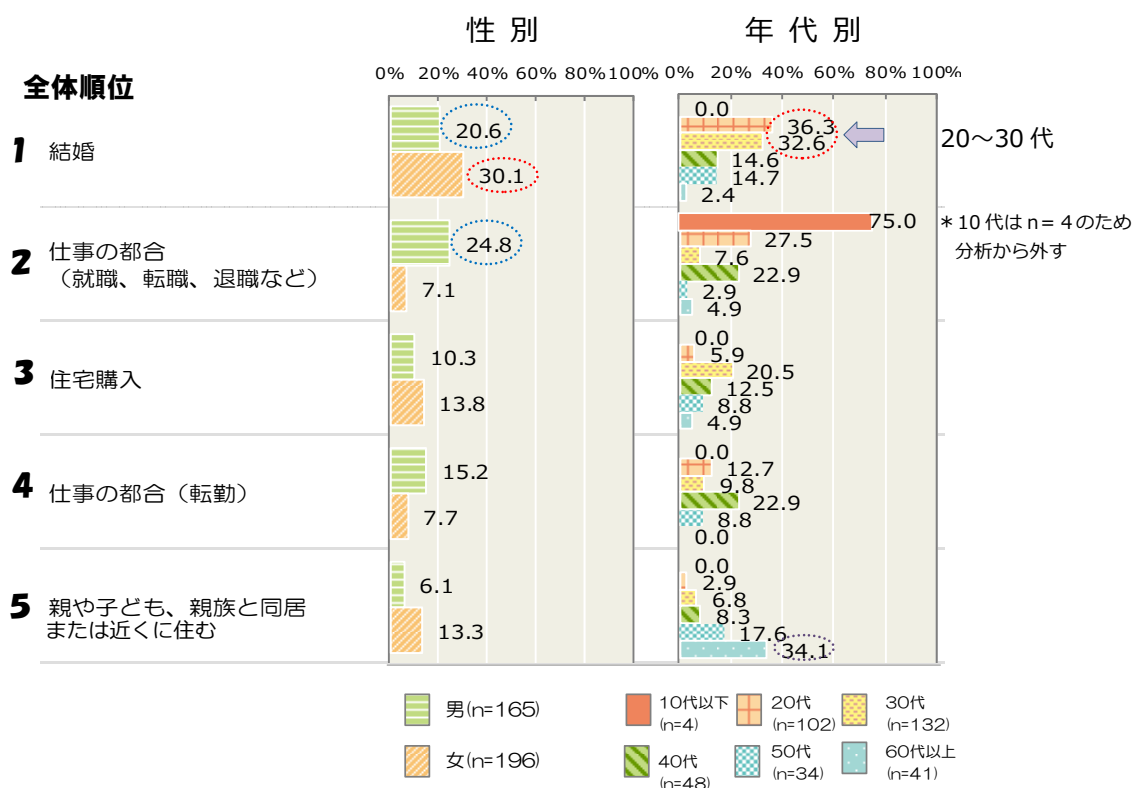
3.5.2 転出理由（性別、年代別）

性別ごとの転出理由ををみると、「結婚」を理由に転出した女性は30.1%と最も多く、年代別で20、30代を合わせると7割近くを占めている。

男性は「仕事の都合（就職、転職、退職など）」が24.8%と最も多く、次いで「結婚」の20.6%となっている。

60代では、「親や子ども、親族と同居・近居」が34.1%で1位となっていることが特徴となっている。

図表 25 《転出者》性別・年代別にみた、転居の理由 n = 361



3.5.3 転出理由（20～40代の性別分析）

回答者属性で8割弱を占める20～40代について、年代及び性別での転出理由について詳細に整理した。

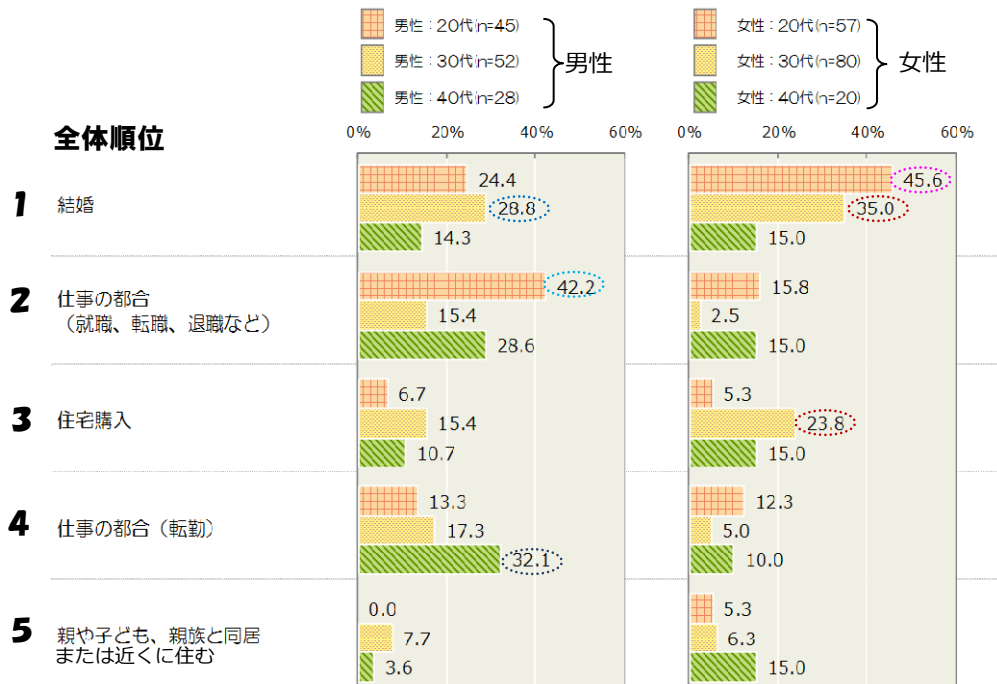
【転出理由】

男女別20～40代の転出理由では、下記のような特徴がみられる。

女性は20代の約半数（45.6%）、30代は35.0%の人が「結婚」による理由となっている。そして、**女性30代の2位の転出理由にあつた「住宅購入」23.8%は全体平均（12.2%）よりも11.6ポイント高かつた。**

男性の各年代の1位は20代は「仕事の都合（就職、転職、退職など）」42.2%、30代は「結婚」28.8%、40代は「仕事の都合（転勤）」32.1%となっている。

図表 26 《転出者》20～40代の転居の理由 n = 361



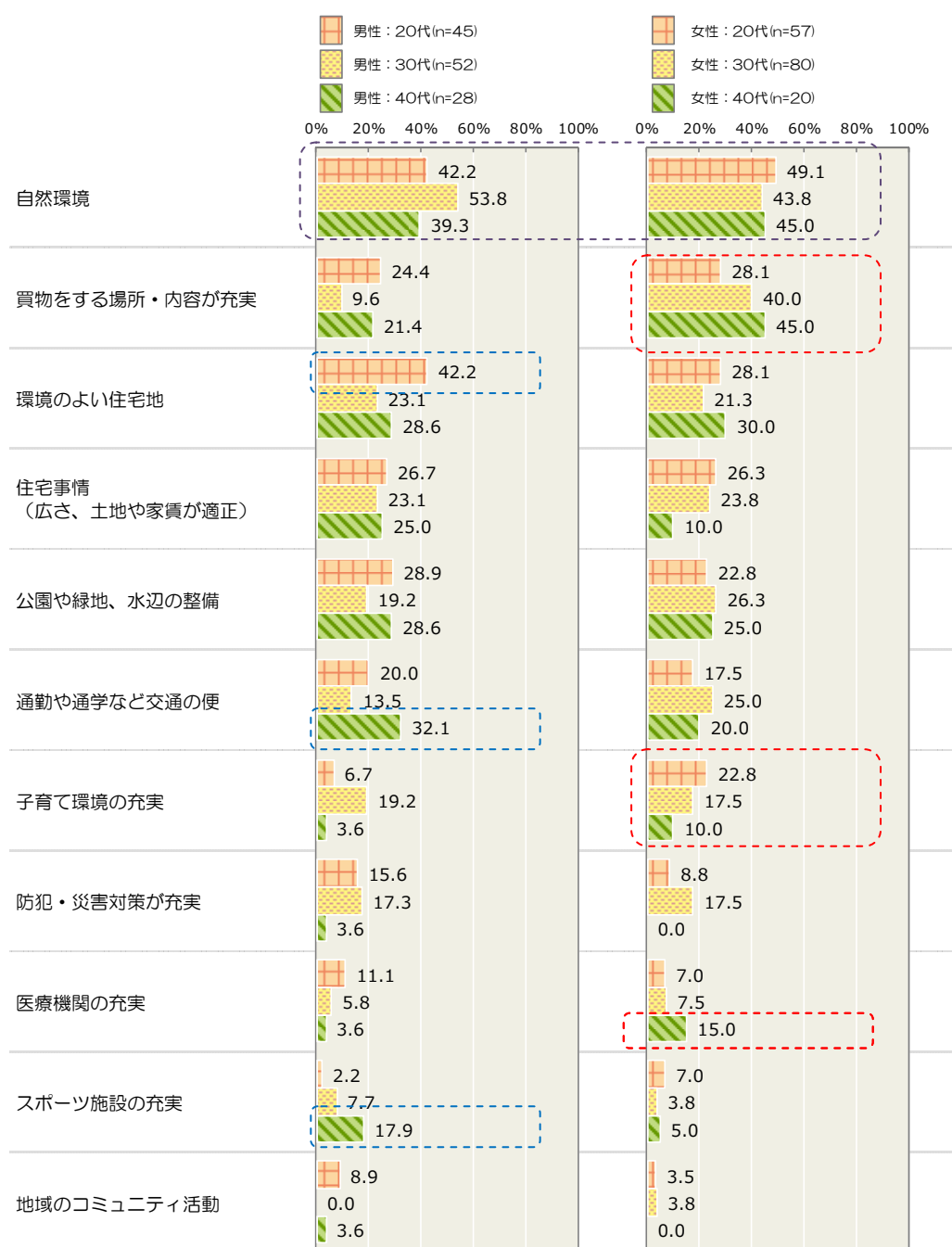
【20～40 代転出者が考える北本市の魅力】

20～40 代の転出者が考える北本市の魅力については、**20～40 代の男女ともに、「自然環境」に大きな魅力を感じている。**

男性では、20 代が「環境のよい住宅地」、40 代が「通勤や通学など交通の便」、「スポーツ施設の充実」が特徴となっている。

女性では、「買い物をする場所、内容が充実」「子育て環境」が男性より魅力に感じている。40 代では「医療機関の充実」に魅力を感じている。

図表 27 20～40 代が考える北本市の魅力 (n=361)



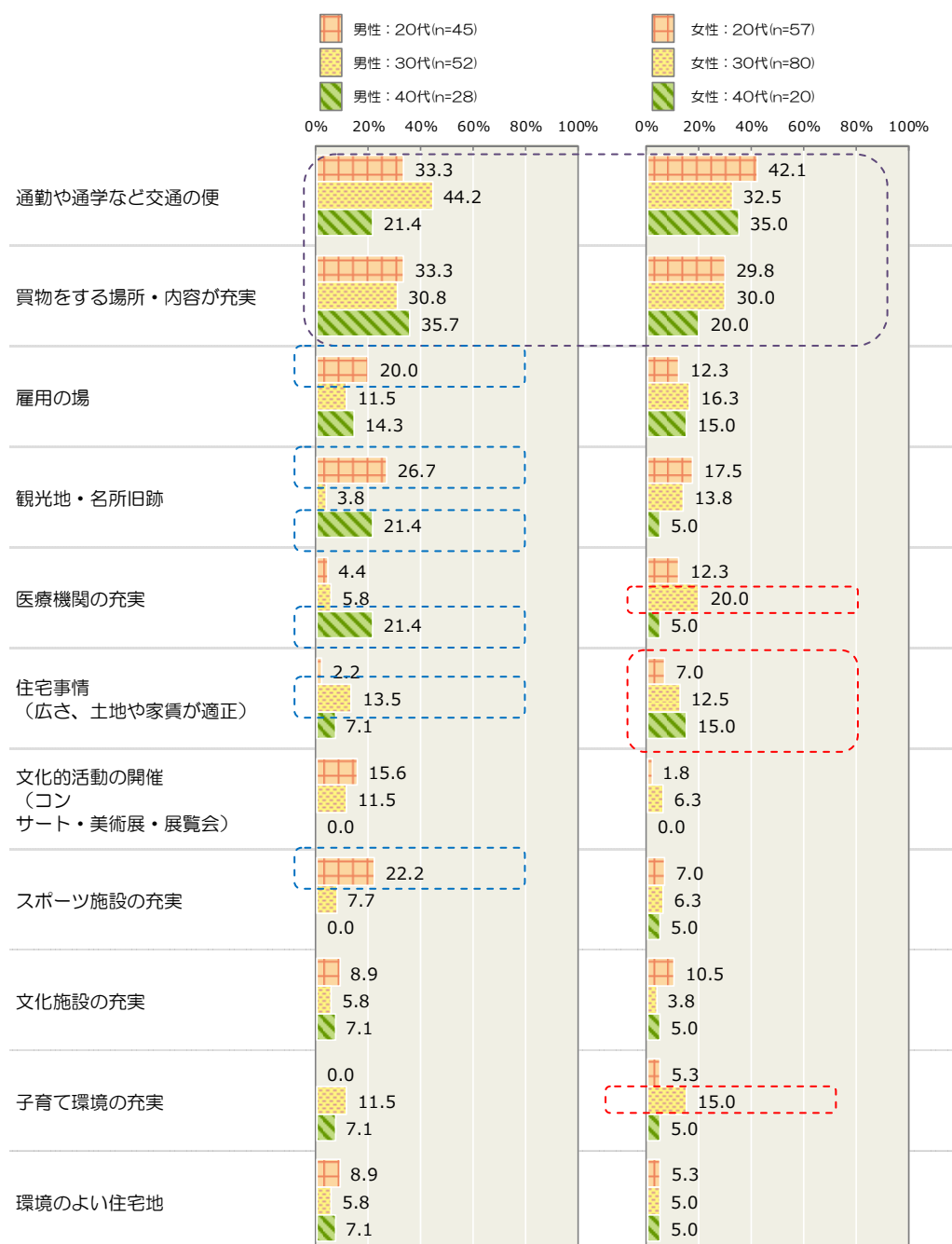
【20～40代転出者が考える北本市の魅力でないところ】

20～40代の男女とも、「通勤や通学などの交通の便」「買物をする場所・内容の充実」には魅力を感じていない。

男性では、20代が「観光地・名所旧跡」「スポーツ施設」「雇用の場」、30代は「住宅事情」、40代が「医療機関の充実」「観光地・名所旧跡」に魅力を感じていない。

女性では、30代が「医療機関」「子育て環境」に魅力を感じていない。また女性は男性よりも「住宅事情」に魅力を感じていない。

図表 28 20～40代が考える北本市の魅力でないところ (n=361)



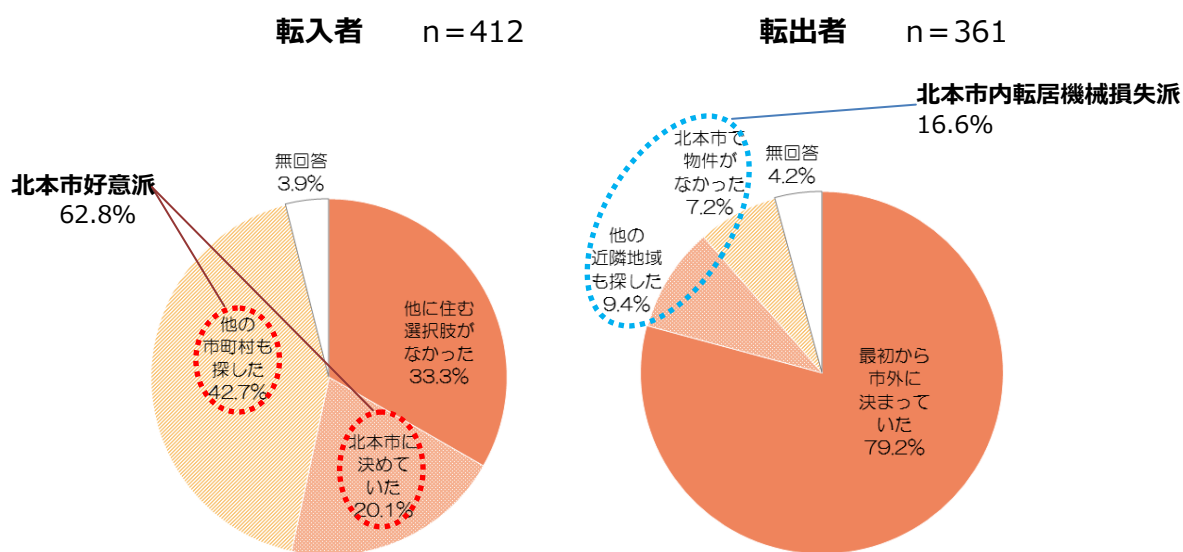
3.6 転入転出時における他市町村比較

3.6.1 北本市と他市町村との比較

転入時における、北本市と他の市町村との住まい比較の検討状況については、「**他の市町村も探した**」が**42.7%**と**4割強を占め**、他の市町村との検討をする転入者が多くなっている。積極的な肯定である「北本市に決めていた」人は20.1%、消極的な選択ともいえる「他に住む選択肢がなかった」人は33.3%。そこで、最初から北本市に決めていた派と他市町村と比べて北本市を選んだ人たちを合わせた**6割強の人たちが“北本市好意派”**と考えられる。

また、転出時における、北本市内での住まい探しの検討の有無は、「最初から市外に決まっていた」が79.2%と大半を占め、「他の近隣地域も探したが結局北本市から転出した」9.4%と「北本市で物件がなかった」7.2%を合わせた**16.6%**が**“北本市内転居機会損失派”**と考えられる。

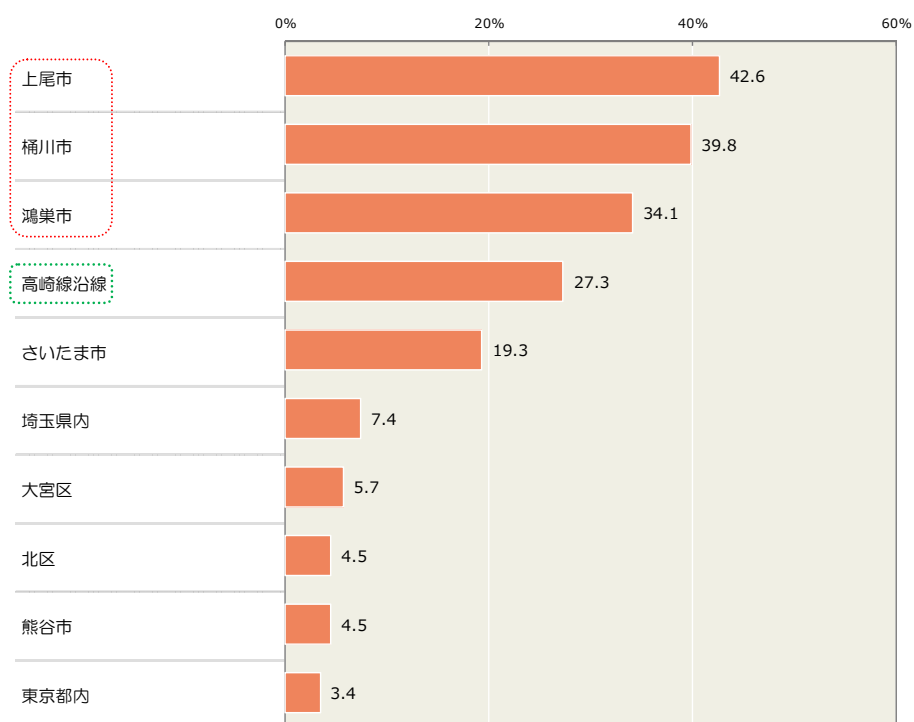
図表 29 北本市と他市との住まい探しの検討



3.6.2 転入者が探した「住まいの候補地」

前項で、転入者が住まい探しの際に、北本市と他市町村とを比較して「探した」という176人に、転入候補として考えた市町村名を尋ねたところ、最も多かったのが「上尾市」42.6%で、次いで「桶川市」39.8%、「鴻巣市」34.1%となり、北本市にとってこの3市が競合する自治体ということになる。また、4位は「高崎線沿線」27.3%となっている。

図表 30 北本市とともに候補に挙げられた市町村名 [MA/n=176]



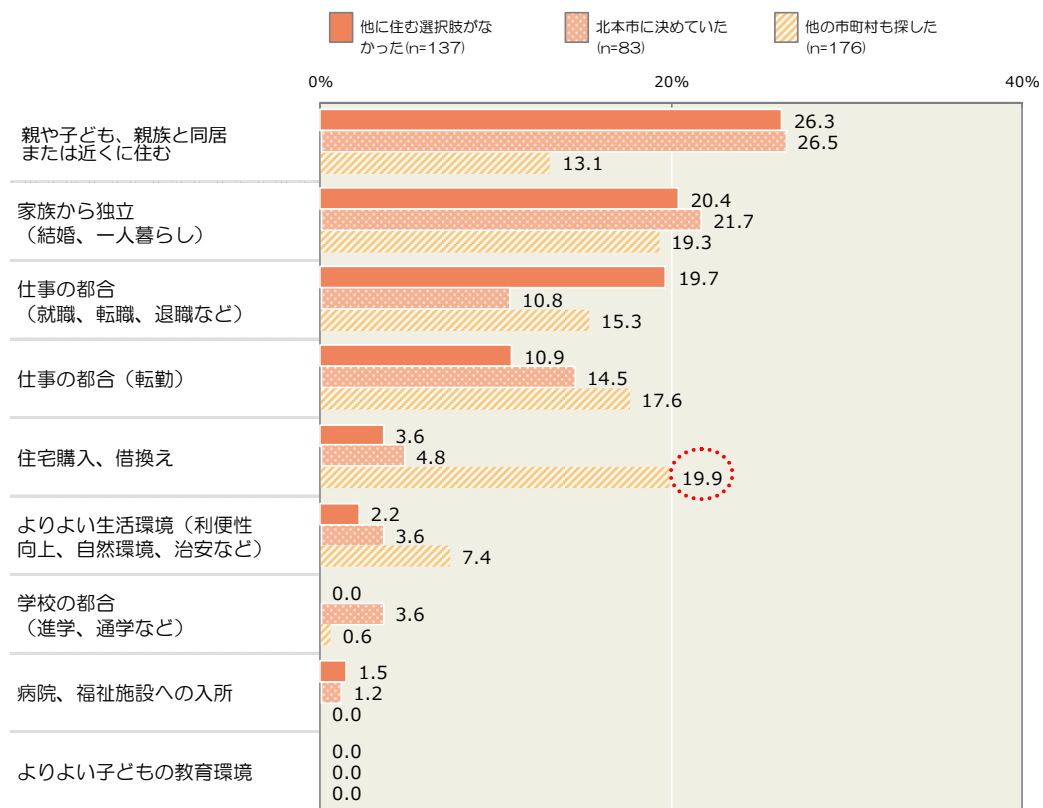
* 上記の地名以外の市町村名を挙げた（埼玉県内の地域）人たちは除いて集計・作図

3.6.3 他の市町村も探した人の転入理由

「他の市町村も探した」という人たちの転入理由は、「住宅購入、借換え」19.9%と最も多くなっている。次いで「家族からの独立（結婚、1人暮らし）」19.3%、「仕事の都合（転勤）」17.6%となっている。

また、「他の市町村も探した」という人たちの定住意向をみると、現時点（転居して約1年以内）では約6割が定住を望んでいるが、4割は転出を今後考えている。この4割の人たちに定住していただくためのまちづくりが求められる。

図表 31 転入時の地域検討別に見る理由



図表 32 転入時の地域検討別に見る北本市での「定住意向」

| | 北本市での定住意向 | 北本に定住 (n=243) | いずれは市外へ (n=150) |
|----------|----------------------|---------------|-----------------|
| | 全体平均 * | | 59.0% |
| 転入時の地域検討 | 他の市町村も探した (n=176) | 56.8% | 39.2% |
| | 北本市に決めていた (n=83) | 74.7% | 21.7% |
| | 他に住む選択肢がなかった (n=137) | 53.3% | 43.1% |

*無回答は除いて表記

図表 33 へ

図表 34 へ

3.6.4 他の市町村も探した転入者の定住・非定住理由

「他の市町村も探した」転入者の“住み続けたい”理由については、1位「適当な不動産物件だから」16.0%、2位「家賃が適正だから」12.0%と住宅関連の理由が上位を占めている。2位に同数で、3位に「通勤・通学に便利だから」12.0%も挙げられている。

「他の市町村も探した」転入者の“いずれは市外に転居したい”理由については、1位「他市にふるさとがあるから」29.0%、2位「交通が不便だから」14.5%、3位「買い物が不便だから」13.0%となっている。

なお、参考値として、転入後の住まいの形態をみると、「北本市に決めていた」人たちは61.8%の方が「民間賃貸」へ入居しており、「持ち家（一戸建て）」は24.5%であった。しかし、「他の市町村も探した」が北本市に転入してきた人たちは、「持ち家（一戸建て）」41.3%、「民間賃貸」40.9%が拮抗した結果となっている。

図表 33 他の市町村も探した人たちの「住み続けたい理由」

| 他の市町村を探した (n=100) | | 全体平均 (n=243) | 北本市に決めていた (n=62) | 他に住む選択肢なし (n=73) |
|-------------------|-------|--------------|---------------------|---------------------|
| ①適当な不動産物件だから | 16.0% | 11.9% | 6.5% | 9.6%② |
| ②家賃が適正だから | 12.0% | 8.2% | 4.8% | 5.5% |
| ③交通の便がよいから | 12.0% | 11.9% | 16.1%② | 8.2% |
| * ①～③は順位 | | | ①住み慣れているから 30.6% | ①住み慣れているから 32.9% |

図表 34 他の市町村も探した人たちの「いずれ転居したい」理由

| 他の市町村を探した (n=69) | | 全体平均 (n=150) | 北本市に決めていた (n=18) | 他に住む選択肢なし (n=59) |
|------------------|-------|--------------|--------------------|----------------------|
| ①他市にふるさとがあるから | 29.0% | 26.0% | 38.9%① | 18.6%② |
| ②交通が不便だから | 14.5% | 19.3% | 5.6% | 28.8%① |
| ③買い物が不便だから | 13.0% | 11.3% | 0% | 13.6%③ |
| * ①～③は順位 | | | ②子育て環境に不満 22.2% | ③北本市に発展性がない 11.1% |

3.6.5 他の市町村も探した人の北本市居住経験

転入者のうち北本市での居住経験は「ある」が約3割弱、「なし」が約7割であった。そこで、転入時に北本市以外の地域を転入先として検討したか否かで調べたところ、「北本市に決めていた」転入者の3割以上がUターン組、「他の市町村も探した」転入者の9割以上が北本市居住経験なしとなっている。

- 「北本市に決めていた」転入者の36.1%がUターン組／63.9%が居住経験なし
- 「他の市町村も探した」転入者の8.5%がUターン組／91.5%が居住経験なし。

図表 35 転入時の地域検討別にみる北本市での「居住経験」

| | 北本市での居住経験 | ある/Uターン | なし/初居住 |
|--------------|----------------------|---------|--------|
| | 全体平均 * | 28.9% | 69.4% |
| 転入時の 地域検討 | 他の市町村も探した (n=176) | 8.5% | 91.5% |
| | 北本市に決めていた (n=83) | 36.1% | 63.9% |
| | 他に住む選択肢がなかった (n=137) | 53.3% | 46.7% |

*無回答は除いて表記

3.7 住まいと転居

3.7.1 住まいの形態

転入理由の5位、転出理由の3位に挙げられた「住宅購入」について、移動(転入・転出)の前後での「住まいの形態」について分析する。

【転入者の住まいの形態】

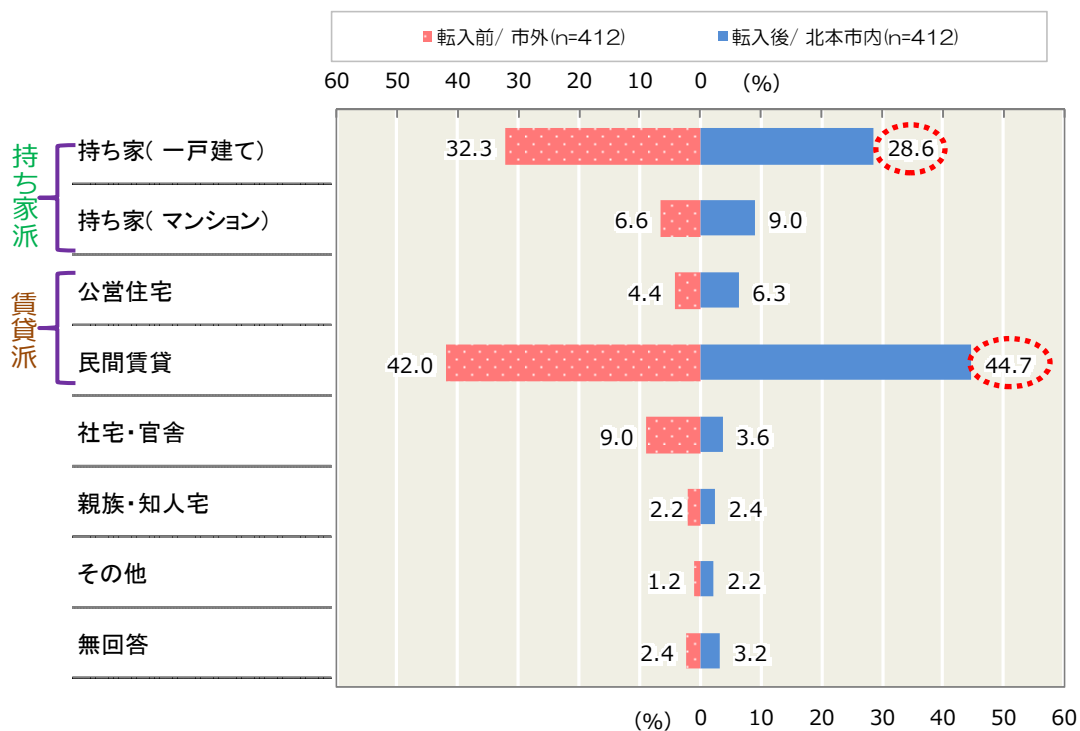
転入前は「民間賃貸」が42.0%で最も多く、次いで「持ち家(一戸建て)」が32.3%となっている。

転入後も、「民間賃貸」が44.7%で最も多く、次いで「持ち家(一戸建て)」が28.6%となっている。

転入前と転入後の比較では、「民間賃貸」が2.7ポイント増加、「持ち家(一戸建て)」が3.7ポイント減少となっている。親との同居や家族からの独立が転入理由の上位となっていることから、民間賃貸が増加し、持ち家が減少している裏付けとなる。

なお、持ち家の内訳は、一戸建てが約4分の3、マンションが約4分の1となっている。

図表 36 《転入者》住まいの形態（転入前と転入後）



【転出者の住まいの形態】

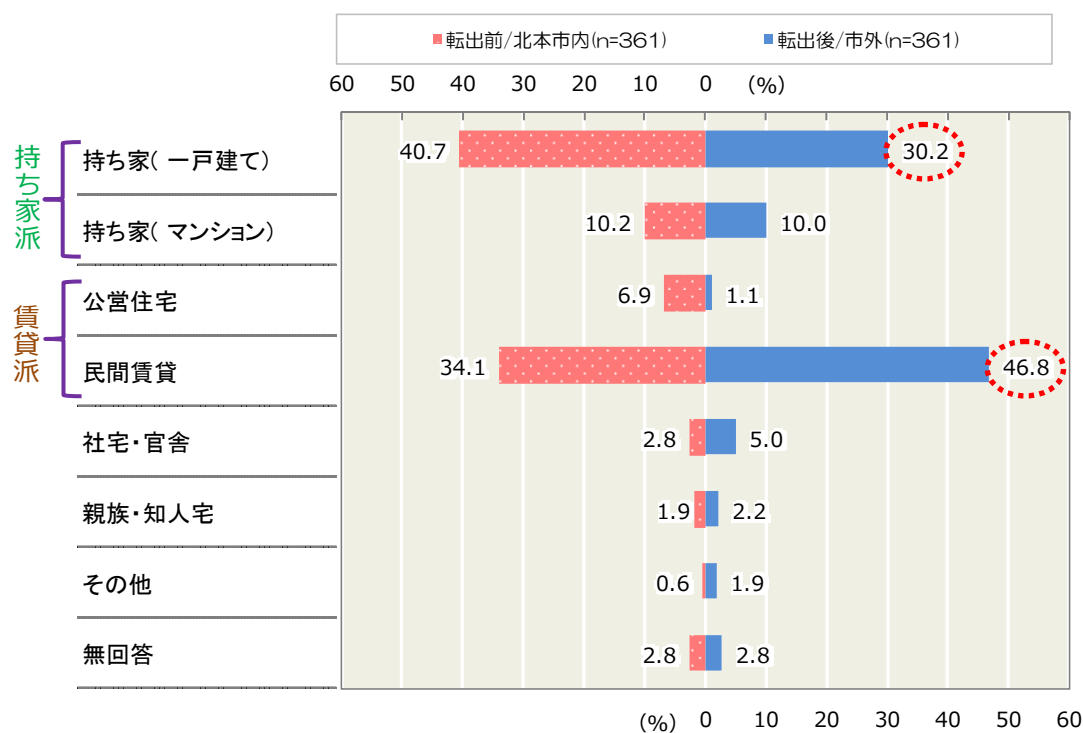
転出前は「持ち家(一戸建て)」が 40.7%と最も多く、次いで「民間賃貸」34.1%となっている。

転出後も「持ち家(一戸建て)」が 30.2%と最も多く、次いで「民間賃貸」46.8%となっている。

転出前と転出後の比較では、「持ち家(一戸建て)」が 10.5 ポイント減少、「民間賃貸」は 12.7 ポイント増加している。転出者の半数が結婚や就職・転勤などで転出していることを考慮すると、単身者や若い世代が多いため民間賃貸が多くなる裏付けとなる。

なお、賃貸の内訳では民間賃貸が 87.6%、公営住宅は 12.4%となっている。

図表 37 《転出者》住まいの形態（転出前と転出後）



3.7.2 転入者の住まいの形態別にみる家族像

転入者のうち、155人が「持ち家(一戸建て 28.6%+マンション 9.0%)」を購入しており、また210人が「賃貸(民間賃貸 44.7%+公営住宅 6.3%)」へ入居している。転入前転入後の住まいの形態別の家族数や家族構成の特徴は下記のとおりとなっている。

【転入後に「持ち家」の方の家族像】

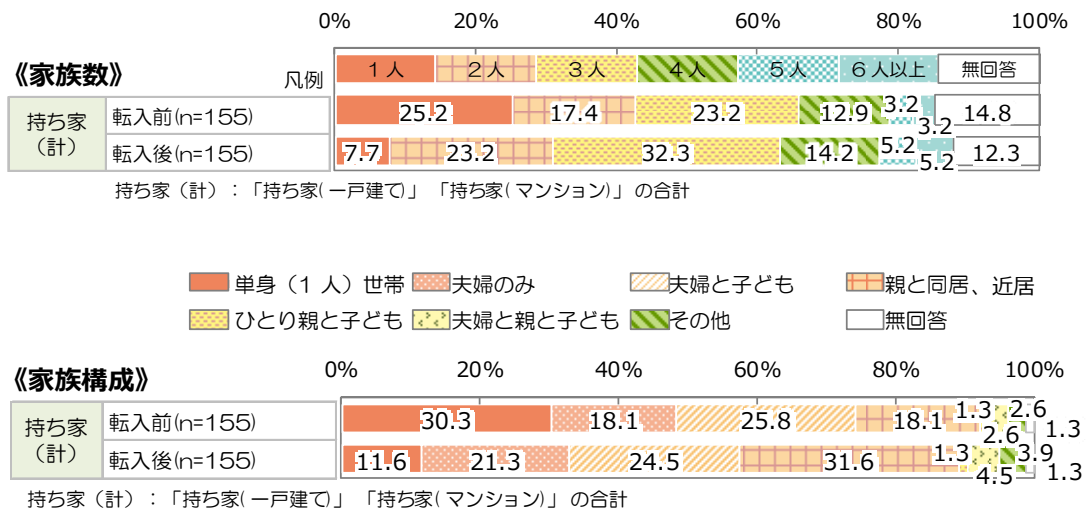
「持ち家(一戸建て+マンション)」の転入者155人の転入前後の家族数は「1人」が25.2%から7.7%に大幅減少、「2人」が17.4%から23.2%に増加、「3人」が23.2%から32.3%に大幅増加となっている。

また、家族構成の転入前後での変化は、「単身(1人)世帯」は30.3%から11.6%に大幅減少、「夫婦のみ」が18.1%から21.3%に増加、「夫婦と子ども」が25.8%から24.5%に微減、「親と同居、近居」が18.1%から31.6%に大幅増加となっている。

つまり、「夫婦のみ」が微増、「夫婦と子ども」が微減し、「単身(1人)世帯」が18.7ポイントと激減、「親と同居・近居」が13.5ポイントと増加している。

これらから、転入後の住まいの形態が「持ち家(一戸建て+マンション)」と回答した方は、出産・子育てを機に、実家またはその近くへ戻って来た転入者が多いと推察される。

図表 38 持ち家転入者の転居前後の「家族数」と「家族構成」



【転入後に「賃貸」の方の家族像】

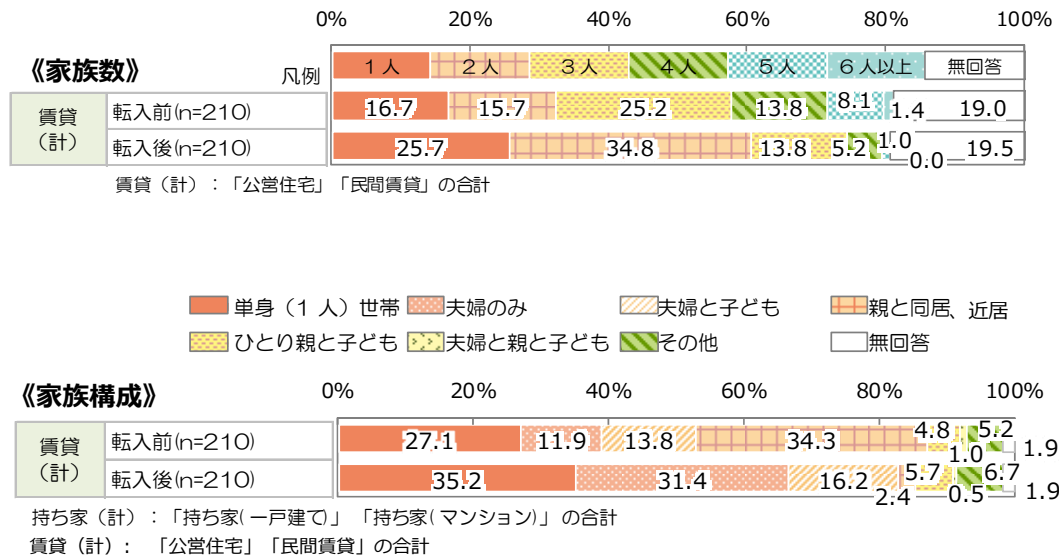
「賃貸（民間賃貸＋公営住宅）」の転入者 210 人の転入前後の家族数は「1人」が 16.7%から 25.7%へ増加、「2人」が 15.7%から 34.8%へ大幅増加、「3人」が 25.2%から 13.8%減少となっている。

また、家族構成の転入前後での変化では、「単身(1人)世帯」は 27.1%から 35.2%増加、「夫婦のみ」が 11.9%から 31.4%へ大幅増加、「夫婦と子ども」が 13.8%から 16.2%に微増、「親との同居、近居」が 34.3%から 2.4%に大幅減少となっている。

つまり、「夫婦と子ども」が微増、「単身(1人)世帯」が 8.1 ポイント増加、「夫婦のみ」が 19.5 ポイント増加、「親と同居・近居」が 31.9 ポイント激減している。

これらから、転入後の住まいの形態が「賃貸(民間賃貸＋公営住宅)」と回答した方は、親元を離れ単身世帯や夫婦世帯になった人たちが多く、子どもが授かって転入する世帯もいると推察できる。

図表 39 賃貸転入者の転居前後の「家族数」と「家族構成」

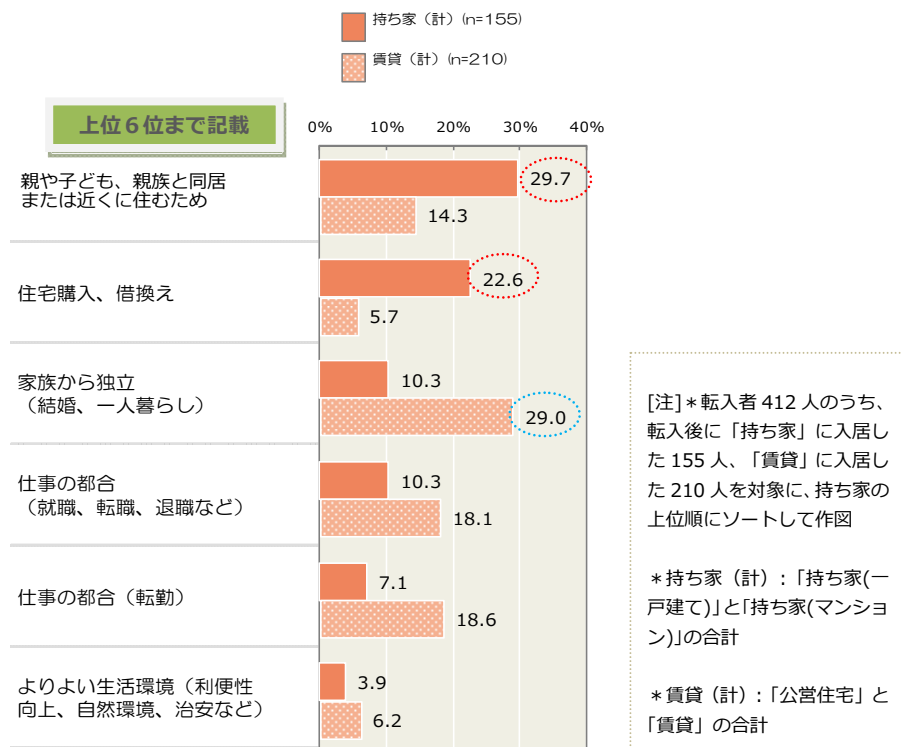


3.7.3 転入後の住まいの形態別にみる転入理由

「持ち家(一戸建て+マンション)」の転入者は、「親と子ども、親族との同居・近居」が29.7%と最も多く、次いで「住宅購入、借換え」が22.6%となっている。前居住地は、「県外その他」26.5%、「東京都」17.4%、「さいたま市」16.8%、「県内その他」16.1%となっている。通勤先では「勤めていない、通学していない」36.8%が多くなっている。

「賃貸(民間賃貸+公営住宅)」の転入者は、「家族からの独立(結婚、一人暮らし)」が29.0%と最も多く、次いで「仕事の都合(転職)」18.6%、「仕事の都合(就職、転職、退職など)」18.1%となっている。前居住地は、「県外その他」28.6%、「県内その他」20.5%、「鴻巣市」13.8%、「さいたま市」11.0%となっている。通勤先では「埼玉県内」が43.4%と多くなっている。なお、賃貸への転入者は、就職や転職などで単身(1人)世帯、結婚により転入した人が多くなっている。

図表 40 転入後の住まいの形態別にみる転入理由 (n=365)



参考：住まいの形態別の前居住地(転入元)と通勤先

| | |
|--------------|---|
| 持ち家・・・【前居住地】 | 「県外その他」26.5%、「東京都」17.4%、「さいたま市」16.8%、「県内その他」16.1% |
| 【通勤先】 | 「東京都」18.7%、「県内その他」11.0%、「さいたま市」「北本市内」9.7%、「勤めていない、通学していない」36.8% |
| 賃貸・・・【前居住地】 | 「県外その他」28.6%、「県内その他」20.5%、「鴻巣市」13.8%、「さいたま市」11.0% |
| 【通勤先】 | 「北本市内」16.7%、「その他県内」13.8%、「さいたま市」12.9%、「東京都」9.5%、「勤めていない、通学していない」23.8% |

3.7.4 転入後の住まいの形態別にみる定住意向

住まいの形態の違いは、北本市における定住意向にも差を及ぼしている。

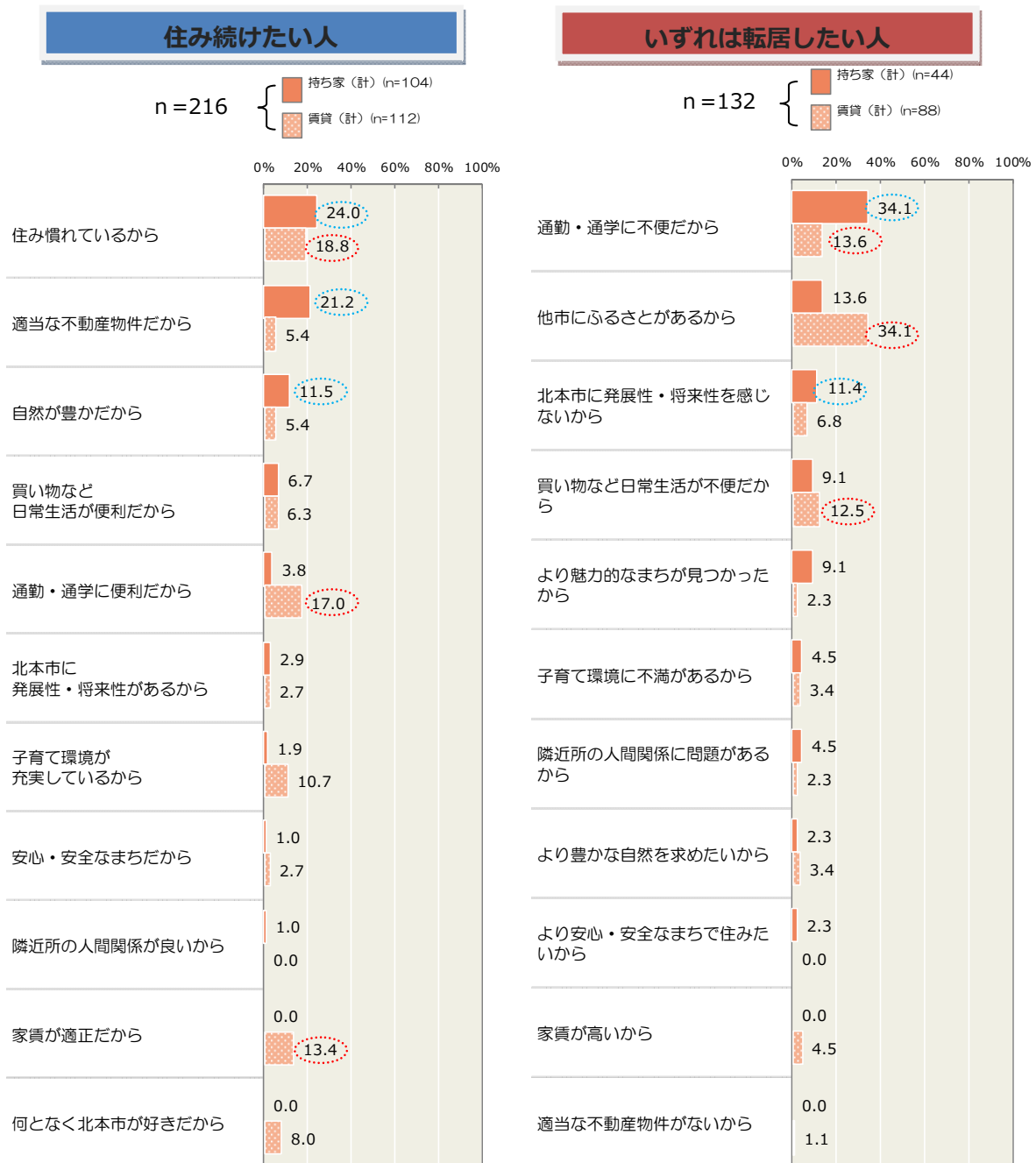
「住み続けたい」の回答については、「持ち家(一戸建て+マンション)」の転入者は 67.1%、「賃貸(民間賃貸+公営住宅)」の転入者は 53.3%で、「持ち家(一戸建て+マンション)」転入者の定住意向が 13.8 ポイント高くなっている。

なお、「賃貸(民間賃貸+公営住宅)」の転入者の半数が「住み続けたい」と考えており、これから結婚や子育てをしようとする定住予備軍と考えれば、彼らのニーズをしっかりと把握していくことが重要といえる。

「持ち家(一戸建て+マンション)」の転入者で“住み続けたい”と回答した人の上位理由は、「住み慣れているから」24.0%、「適当な不動産物件だから」21.2%、「自然が豊かだから」11.5%となっている。一方、“いずれは転居したい”と回答した人の上位理由は、「通勤・通学に不便だから」34.1%、「他市にふるさとがあるから」13.6%、「北本市に発展性・将来性を感じないから」11.4%となっている。

「賃貸(民間賃貸+公営住宅)」の転入者で“住み続けたい”と回答した人の上位理由は、「住み慣れているから」18.8%、「通勤・通学に便利だから」17.0%、「家賃が適正だから」13.4%となっている。一方、“いずれは転居したい”と回答した人の上位理由は、「他市にふるさとがあるから」34.1%、「通勤・通学に不便だから」13.6%、「買い物など日常生活が不便だから」12.5%となっている。

図表 41 住まいの形態別にみる北本市定住の理由



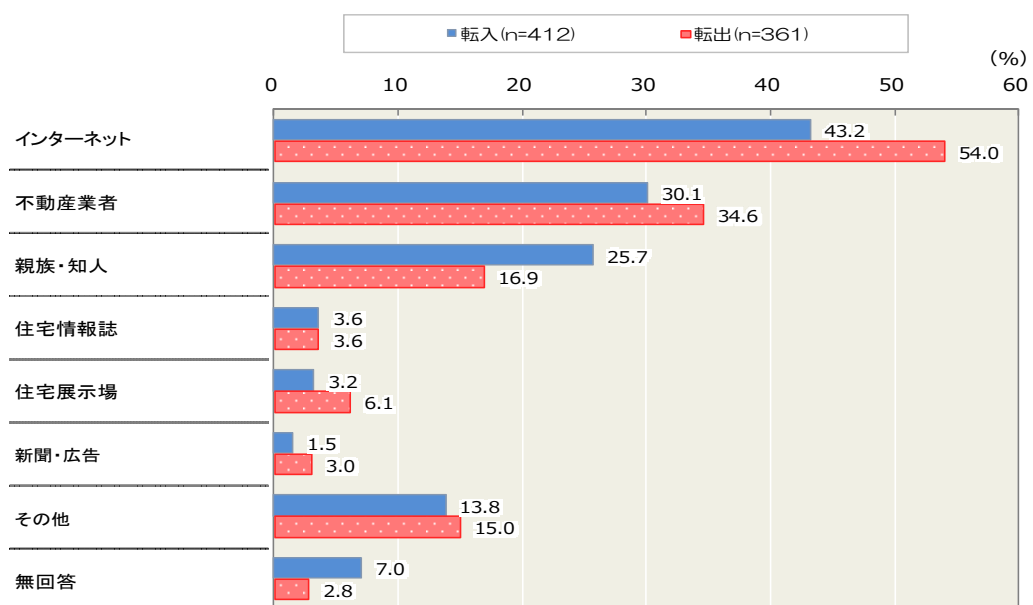
3.8 住まい探しの情報源

3.8.1 住まい探しの情報源

転入時の住まい探しの情報源は、「インターネット」が43.2%と最も多く、特に転出者では5割を超えている。次いで「不動産業者」が30.1%、「親族・知人」25.7%と続いている。

転入と転出の特徴では、転入における「親族・知人」が転出より8.8ポイント高くなっており、口コミの重要性を推察できる。

図表 42 住まい探しの情報源

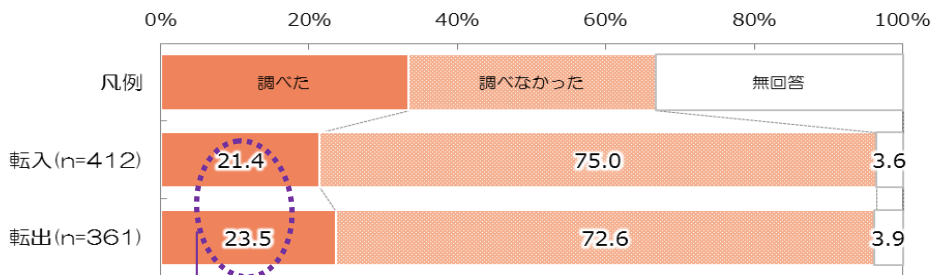


3.8.2 行政サービス、支援制度の確認状況

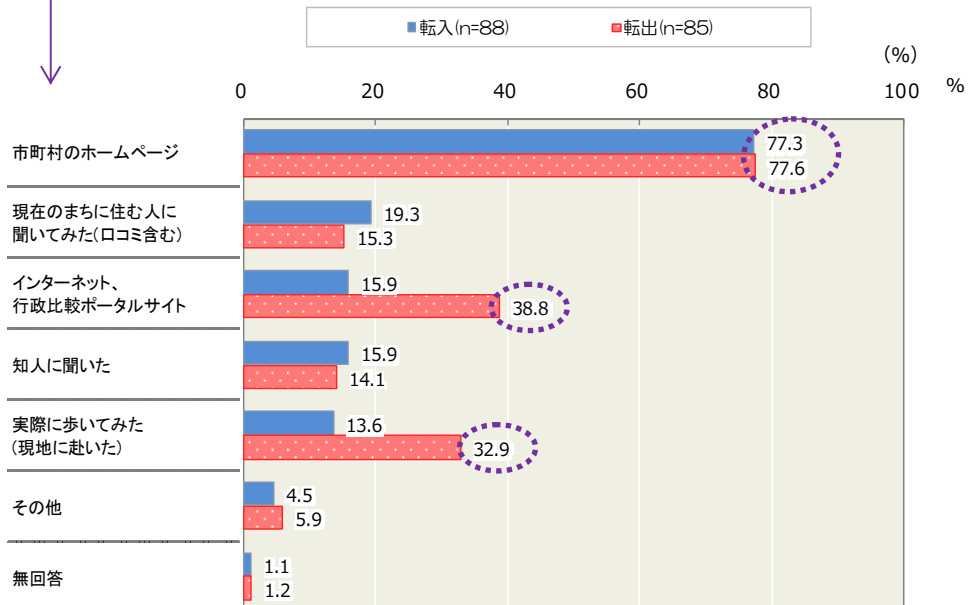
転入における北本市の行政サービスや支援制度について、10人に2人(21.4%)が事前に調べている。その媒体としては、「市町村のホームページ」77.3%が最も多く、転入に際して重要な媒体と考えられる。次いで「北本市に住む人に聞いた(口コミ含む)」19.3%、「インターネット、行政比較ポータルサイト」と「知人に聞いた」が同数の15.9%、「実際に歩いた(現地に赴いた)」が13.6%と続いている。

転出における北本市の行政サービスや支援制度について、10人に2人(23.5%)が事前に調べている。その媒体としては、「市町村のホームページ」が77.6%と最も多く、次いで「インターネット、行政比較ポータルサイト」が38.8%、「実際に歩いてみた(現地に赴いた)」が32.9%と続いている。転出では、行政比較ポータルサイトや実際に歩いた等が転入に比較して多くなっていることが特徴となっている。

図表 43 行政サービス、支援制度の確認状況



図表 44 行政サービス、支援制度の確認媒体



4 北本市への意見

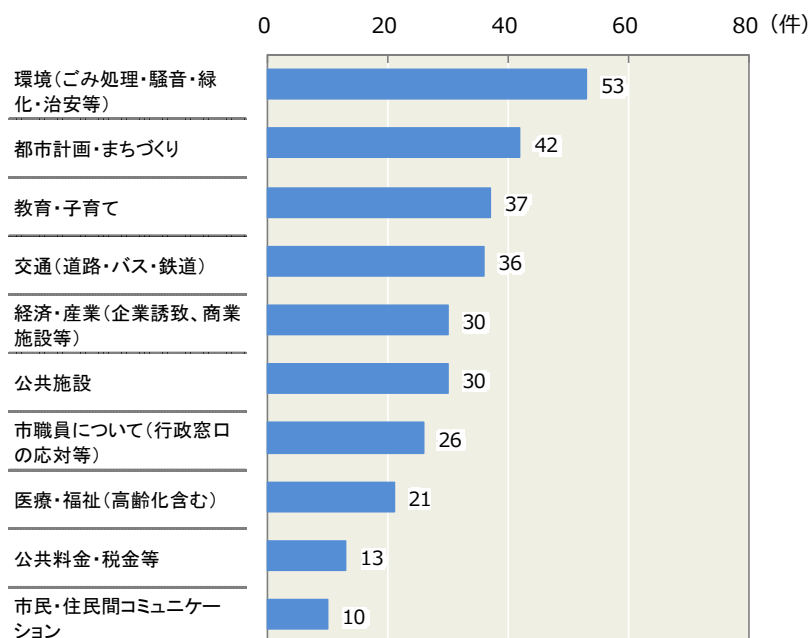
4.1 転入者にみる自由意見（自由記述）

北本市に対する自由意見として 162 人の方から回答をいただいた。プラス意見(魅力・肯定)は 39 件、マイナス意見（改善・見直し）は 154 件となっている。

キーワード出現数では、環境（ごみ処理・騒音・緑化・治安など）が 1 位、次いで都市計画・まちづくり、教育・子育て、交通（道路・バス・鉄道）と続いている。

プラス意見では少数であるが、教育・子育て、公共施設、市職員（窓口対応）と続いている。なお、マイナス意見数が多いため、マイナス意見はキーワード出現数と同じ傾向になっている。

図表 45 転入者のキーワード出現数（上位 10 項目） n=412、記入件数 162



| 順位 | プラス意見 n=31 (件) | マイナス意見 n=99 (件) |
|----|--|--------------------------|
| 1 | - 教育・子育て 8 | - 環境(ごみ処理・騒音・緑化・治安など) 52 |
| 2 | - 公共施設 7 | - 都市計画・まちづくり 41 |
| 3 | - 市職員 (窓口対応) 6 | - 交通 (道路・バス・鉄道) 35 |
| 4 | - 商業施設・企業誘致 5 | - 教育・子育て 29 |
| 5 | - 医療・福祉 - 観光・祭事・イベント - 住民間コミュニケーション (同数) 3 | - 商業施設・企業誘致 25 |

* 複数の意見を記入した人もいるので、n 数と意見数は一致しない

5 調査票

5.1 転入者アンケート票

北本市へ転入された方へ まちづくりのアンケートご記入のお願い

日頃より市政運営にご理解、ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、北本市では人口減少に対応し、より「住みよいまち」となるよう、転入された方と転出された方から率直なご意見をいただくため、この度アンケートを実施することとしました。

アンケートは無記名形式で、統計的に処理し、個人が特定されることはありません。アンケートの趣旨をご理解いただき、ぜひご協力くださいますよう、あわせてお願いいたします。

《ご記入にあたって》

- 平成 26 年 9 月 1 日～平成 27 年 8 月 31 日に転入された方を対象としています。
- 事情により封筒のあて名の方が回答できない場合は、ご家族の方がお答えくださっても結構です。
- この調査票は、**10月23日(金)**までに同封の返信用封筒でご投函ください（切手を貼る必要はございません）。

2015 年 10 月

北本市長 現王園 孝昭

【問い合わせ先】 北本市役所 総合政策部 政策推進課
住所：〒364-8633 北本市本町 1-111
TEL：048-594-5503（直通）

問1 あなたの性別についてお聞きます。番号に1つだけ○印をつけてください。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | 男 | 2 | 女 |
|---|---|---|---|

問2 あなたの年齢をお聞きます。1つだけ○印をつけてください。

| | | | | | |
|----|---------|----|---------|----|---------|
| 1 | 18～19 歳 | 2 | 20～24 歳 | 3 | 25～29 歳 |
| 4 | 30～34 歳 | 5 | 35～39 歳 | 6 | 40～44 歳 |
| 7 | 45～49 歳 | 8 | 50～54 歳 | 9 | 55～59 歳 |
| 10 | 60～64 歳 | 11 | 65～69 歳 | 12 | 70～74 歳 |
| 13 | 75～79 歳 | 14 | 80 歳以上 | | |

問3 あなたの職業をお聞きます。1つだけ○印をつけてください。

| | | | |
|---|------------------|----|--------------|
| 1 | 農・林業 | 2 | 自営業／経営者 |
| 3 | 会社員／会社役員 | 4 | 公務員 |
| 5 | パート・アルバイト | 6 | 団体職員（NPOを含む） |
| 7 | 学生（大学・短大・専門学校など） | 8 | 専業主婦（主夫） |
| 9 | 無職 | 10 | その他（ ） |

問4 あなたの通勤先（または通学先）はどちらですか。1つだけ○印をつけてください。

| | | | |
|---|--------------|----|----------------|
| 1 | 北本市内（自宅も含む） | 2 | さいたま市（区） |
| 3 | 鴻巣市 | 4 | 桶川市 |
| 5 | 上尾市 | 6 | 熊谷市 |
| 7 | その他県内（市・町・村） | 8 | 東京都 |
| 9 | その他（県） | 10 | 勤めていない、通学していない |

問5 現在、北本市のどちらにお住まいですか。1つだけ○印をつけてください。

| | | | | | |
|----|------|----|------|----|-----|
| 1 | 深井 | 2 | 宮内 | 3 | 古市場 |
| 4 | 山中 | 5 | 本宿 | 6 | 北本 |
| 7 | 東間 | 8 | 朝日 | 9 | 北中丸 |
| 10 | 中丸 | 11 | 二ツ家 | 12 | 北本宿 |
| 13 | 下石戸上 | 14 | 下石戸下 | 15 | 石戸 |
| 16 | 石戸宿 | 17 | 荒井 | 18 | 栄 |
| 19 | 中央 | 20 | 緑 | 21 | 本町 |
| 22 | 高尾 | 23 | 西高尾 | | |

問6 どちらから（元のお住まい）転入されましたか。1つだけ○印をつけてください。

| | | | |
|---|----------|----|---------------|
| 1 | さいたま市（区） | 2 | 鴻巣市 |
| 3 | 桶川市 | 4 | 上尾市 |
| 5 | 行田市 | 6 | 熊谷市 |
| 7 | 加須市 | 8 | 県内その他（市・町・村） |
| 9 | 東京都 | 10 | 県外その他（県市・町・村） |

問7 元のお住まい(転入前)には、何年間住んでいましたか。1つだけ○印をつけてください。

| | | | |
|---|-------------|---|------------|
| 1 | 1年未満 | 2 | 1年以上、3年未満 |
| 3 | 3年以上、5年未満 | 4 | 5年以上、10年未満 |
| 5 | 10年以上、20年未満 | 6 | 20年以上 |

問8 今回の転入以前にも、北本市に住んでいた経験はありますか。1つだけ○印をつけてください。

| | | | |
|---|----|---|----|
| 1 | ある | 2 | ない |
|---|----|---|----|

問9 転入前（北本市外）と転入後のお住まいの形態についてお聞かせください。転入前、転入後のそれぞれに1つずつ○印をつけてください。

| | |
|---------------|--|
| 転入前 (北本市外) | 1. 持ち家(一戸建て) *同居親族の持ち家も含みます 2. 持ち家(マンション) *同居親族の持ち家も含みます 3. 公営住宅 4. 民間賃貸 5. 社宅・官舎など 6. 親族・知人宅 7. その他 () |
| 転入後 (北本市内) | 1. 持ち家(一戸建て) *同居親族の持ち家も含みます 2. 持ち家(マンション) *同居親族の持ち家も含みます 3. 公営住宅 4. 民間賃貸 5. 社宅・官舎など 6. 親族・知人宅 7. その他 () |

問10 北本市へ転入した主な理由は何ですか。1つだけ○印をつけてください。

| | |
|----|-------------------------------------|
| 1 | 仕事の都合(転勤) *同居親族の仕事の都合も含みます |
| 2 | 仕事の都合(就職、転職、退職など) *同居親族の仕事の都合も含みます |
| 3 | 学校の都合(進学、通学など) |
| 4 | 家族から独立するため(結婚、一人暮らしなど) |
| 5 | 親や子ども、親族など同居、または近くに住むため |
| 6 | 病院、福祉施設などへ入居・入所するため |
| 7 | 住宅購入、借家、賃貸住宅の借換えなどのため |
| 8 | 生活環境をよくするため(交通、買い物の利便性向上、自然環境、治安など) |
| 9 | 子どもの教育環境をよくするため |
| 10 | その他 () |

問11 転入される際、どのようにお住まいを決めましたか。1つだけ○印をつけてください。

| | |
|---|---|
| 1 | 転入先は、最初から北本市に決まっていた(寮、社宅、同居、すでに家があったため) |
| 2 | 最初から北本市に住もうと決めていた(他市は探さなかった) |
| 3 | 他の市町村も探したが、北本市に決めた →*問12をお答えください |

* 4ページ
問13へ進んでください

問12 上記、問11で「3 他の市町村も探したが、北本市に決めた」方にうかがいます。お住まいの候補に挙げた市町村、地域を、いくつでもご記入してください。

(例：埼玉県内、高崎線沿線など)

問 15 北本市での今後の定住意向をうかがいます。どちらか1つに○印をつけてください。

また、その理由も、該当するものに1つだけ○印をつけてください。

| | | | |
|----|---|----|---|
| 1 | 北本市に住み続けたい（市内での移転も含む） | 2 | いずれは市外に転居したい |
| ↓ | | ↓ | |
| 理由 | <p>*「北本市に住み続けたい」理由を 1つだけ○印をつけてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 住み慣れている（ふるさと）だから 2. 家賃が適正だから 3. 適当な不動産物件だから 4. 通勤・通学に便利だ（近い）から 5. 買い物など日常生活が便利だから 6. 子育て環境が充実しているから 7. 隣近所の間人間関係が良いから 8. 北本市に発展性・将来性があるから 9. 自然が豊かだから 10. 安心・安全なまちだから 11. 何となく北本市が好きだから 12. その他（ ） | 理由 | <p>*「いずれは市外に転居したい」理由を 1つだけ○印をつけてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 他市にふるさとがあるから 2. 家賃が高いから 3. 適当な不動産物件がないから 4. 通勤・通学に不便だ（遠い）から 5. 買い物など日常生活が不便だから 6. 子育て環境に不満があるから 7. 隣近所の間人間関係に問題があるから 8. 北本市に発展性・将来性を感じないから 9. より豊かな自然を求めたいから 10. より安心・安全なまちで住みたいから 11. より魅力的なまちが見つかったから 12. その他（ ） |

問 16 あなたの家族構成をお聞きます。転入前と転入後について、家族の人数の明記と、

その形態に1つだけ○印をつけてください。

| | | | | | |
|-----|------------------|--|-----|------------------|--|
| 転入前 | 家族数 ____人 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 単身（1人）世帯 2. 夫婦のみ 3. 夫婦と子ども 4. 親と同居 5. ひとり親と子ども 6. 夫婦と親と子ども 7. その他（ ） | 転入後 | 家族数 ____人 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 単身（1人）世帯 2. 夫婦のみ 3. 夫婦と子ども 4. 親と同居 5. ひとり親と子ども 6. 夫婦と親と子ども 7. その他（ ） |
|-----|------------------|--|-----|------------------|--|

問 17 転入時の同居のお子さんの就学状況を、すべてお聞かせください。該当するものに、いくつでも○印をつけてください。

| | | | |
|---|---------|---|--------------|
| 1 | 就学前（在宅） | 2 | 就学前（保育所・幼稚園） |
| 3 | 小学生 | 4 | 中学生 |
| 5 | 高校生以上 | 6 | 子どもはいない |

問 18 転入する際の住まい探しの情報源は何でしたか。該当するものに、いくつでも○印をつけてください。

| | | | |
|---|---------|---|-------|
| 1 | インターネット | 2 | 不動産業者 |
| 3 | 住宅情報誌 | 4 | 新聞・広告 |
| 5 | 住宅展示場 | 6 | 親族・知人 |
| 7 | その他 () | | |

問 19 転入にあたって北本市の行政サービスや各種支援制度を調べましたか。1つだけ○印をつけてください。

| | | | | | |
|---|-----|---------|---|--------|--------------|
| 1 | 調べた | →問 20 へ | 2 | 調べなかった | →問 21 へ(7Pへ) |
|---|-----|---------|---|--------|--------------|

問 20 上記、問 19 で「1. 調べた」と回答した方にうかがいます。それは、どんな方法で調べましたか。

| | | | |
|---|------------------|---|----------------------|
| 1 | 北本市のホームページ | 2 | インターネット、行政比較ポータルサイト |
| 3 | 実際に歩いてみた(現地に赴いた) | 4 | 北本市に住む人に聞いてみた(口コミ含む) |
| 5 | 知人に聞いた | 6 | その他 () |



5.2 転出者アンケート票

北本市から転出された方へ まちづくりのアンケートご記入のお願い

これまで北本市にお住まいいただきありがとうございました。新しいまちでの生活はいかがでしょう。新しいまちでの生活も実りあるものになることを、ご祈念申し上げます。

さて、北本市では人口減少に対応し、より「住みよいまち」となるよう、転入された方と転出された方から率直なご意見をいただくため、アンケートを実施することいたしました。

アンケートは無記名形式で、統計的に処理し、個人が特定されることはありません。アンケートの趣旨をご理解いただき、ぜひご協力くださいますようお願いいたします。

《ご記入にあたって》

- 平成 26 年 9 月 1 日～平成 27 年 8 月 31 日に転出された方を対象として選んでいます。
- 事情により封筒のあて名の方が回答できない場合は、ご家族の方がお答えくださっても結構です。
- この調査票は、**10月23日(金)**までに同封の返信用封筒でご投函ください（切手を貼る必要はありません）。

2015 年 10 月
北本市長 現王園 孝昭

【お問合せ先】 北本市役所 総合政策部 政策推進課

住所：〒364-8633 北本市本町 1-111 TEL：048-594-5503（直通）

問 1 あなたの性別についてお聞きます。番号に 1 つだけ○印をつけてください。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | 男 | 2 | 女 |
|---|---|---|---|

問 2 あなたの年齢をお聞きます。1 つだけ○印をつけてください。

| | | | | | | | | | |
|----|---------|----|---------|----|---------|----|---------|----|---------|
| 1 | 18～19 歳 | 2 | 20～24 歳 | 3 | 25～29 歳 | 4 | 30～34 歳 | 5 | 35～39 歳 |
| 6 | 40～44 歳 | 7 | 45～49 歳 | 8 | 50～54 歳 | 9 | 55～59 歳 | 10 | 60～64 歳 |
| 11 | 65～69 歳 | 12 | 70～74 歳 | 13 | 75～79 歳 | 14 | 80 歳以上 | | |

問 3 あなたの職業をお聞きます。1 つだけ○印をつけてください。

| | | | | | |
|----|-----------------|---|-----------|---|---------------|
| 1 | 農・林業 | 2 | 自営業／経営者 | 3 | 会社員／会社役員 |
| 4 | 公務員 | 5 | パート・アルバイト | 6 | 団体職員（NPO を含む） |
| 7 | 学生（大学・短大・専門学校等） | 8 | 専業主婦（主夫） | 9 | 無職 |
| 10 | その他（ ） | | | | |

問 4 北本市のどちらにお住まい（町名）でしたか。1 つだけ○印をつけてください。

| | | | | | |
|----|------|----|------|----|-----|
| 1 | 深井 | 2 | 宮内 | 3 | 古市場 |
| 4 | 山中 | 5 | 本宿 | 6 | 北本 |
| 7 | 東間 | 8 | 朝日 | 9 | 北中丸 |
| 10 | 中丸 | 11 | 二ツ家 | 12 | 北本宿 |
| 13 | 下石戸上 | 14 | 下石戸下 | 15 | 石戸 |
| 16 | 石戸宿 | 17 | 荒井 | 18 | 栄 |
| 19 | 中央 | 20 | 緑 | 21 | 本町 |
| 22 | 高尾 | 23 | 西高尾 | | |

問5 北本市には、何年間住んでいましたか。1つだけ○印をつけてください。

| | | | | | |
|---|------------|---|-------------|---|-----------|
| 1 | 1年未満 | 2 | 1年以上、3年未満 | 3 | 3年以上、5年未満 |
| 4 | 5年以上、10年未満 | 5 | 10年以上、20年未満 | 6 | 20年以上 |

問6 転出前（北本市内）と転出後のお住まいの形態についてお聞かせください。転出前、転出後のそれぞれに1つずつ○印をつけてください。

| | |
|---------------|--|
| 転出前 (北本市内) | 1. 持ち家(一戸建て) *同居親族の持ち家も含みます 2. 持ち家(マンション) *同居親族の持ち家も含みます 3. 公営住宅 4. 民間賃貸 5. 社宅・官舎など 6. 親族・知人宅 7. その他 () |
| 転出後 (北本市外) | 1. 持ち家(一戸建て) *同居親族の持ち家も含みます 2. 持ち家(マンション) *同居親族の持ち家も含みます 3. 公営住宅 4. 民間賃貸 5. 社宅・官舎など 6. 親族・知人宅 7. その他 () |

問7 どちらへ転出されましたか。1つだけ○印をつけてください。

| | | | |
|---|-------------|----|-------------------|
| 1 | さいたま市 () 区 | 2 | 鴻巣市 |
| 3 | 桶川市 | 4 | 上尾市 |
| 5 | 行田市 | 6 | 熊谷市 |
| 7 | 加須市 | 8 | 県内その他 () 市・町・村 |
| 9 | 東京都 | 10 | 県外その他 () 県 市・町・村 |

問8 北本市から転出した主な理由は何ですか。1つだけ○印をつけてください。

| | |
|----|------------------------------------|
| 1 | 仕事の都合(転勤) *同居親族の仕事の都合も含みます |
| 2 | 仕事の都合(就職、転職、退職など) *同居親族の仕事の都合も含みます |
| 3 | 学校の都合(進学、通学など) |
| 4 | 結婚のため |
| 5 | 親や子ども、親族などと同居、または近くに住むため |
| 6 | 病院、福祉施設などへ入居・入所するため |
| 7 | 持ち家を購入したため |
| 8 | 借家の借換えのため |
| 9 | 生活環境をよくするため(交通、買い物の利便性向上) |
| 10 | 生活環境をよくするため(自然環境、治安など) |
| 11 | 子どもの教育環境をよくするため |
| 12 | その他 () |

問 12 あなたの家族構成について、転出前と転出後の**家族の人数**を記入し、**その形態**に1つだけ○印をつけてください。

| | | | | | |
|-----|-----|---|-----|-----|---|
| 転出前 | 家族数 | 1. 単身（1人）世帯 2. 夫婦のみ 3. 夫婦と子ども 4. 親と同居 5. ひとり親と子ども 6. 夫婦と親と子ども 7. その他（ ） | 転出後 | 家族数 | 1. 単身（1人）世帯 2. 夫婦のみ 3. 夫婦と子ども 4. 親と同居 5. ひとり親と子ども 6. 夫婦と親と子ども 7. その他（ ） |
| | —人 | —人 | | | |

問 13 転出時の同居のお子さんの就学状況を、すべてお聞かせください。該当するものに、いくつでも○印をつけてください。

| | | | |
|---|---------|---|--------------|
| 1 | 就学前（在宅） | 2 | 就学前（保育所・幼稚園） |
| 3 | 小学生 | 4 | 中学生 |
| 5 | 高校生以上 | 6 | 子どもはいない |

問 14 転出する際の住まい探しの情報源は何でしたか。該当するものに、いくつでも○印をつけてください。

| | | | |
|---|---------|---|-------|
| 1 | インターネット | 2 | 不動産業者 |
| 3 | 住宅情報誌 | 4 | 新聞・広告 |
| 5 | 住宅展示場 | 6 | 親族・知人 |
| 7 | その他（ ） | | |

問 15 転出にあたって「まち」を選ぶ際に、現在居住している市町村の行政サービスや各種支援制度を調べましたか。
1つだけ○印をつけてください。

| | | | | | |
|---|-----|---------|---|--------|---------|
| 1 | 調べた | →問 16 へ | 2 | 調べなかった | →問 17 へ |
|---|-----|---------|---|--------|---------|

問 16 上記、問 15 で「1. 調べた」と回答した方にうかがいます。それは、どんな方法で調べましたか。該当するものに、いくつでも○印をつけてください。

| | | | |
|---|------------------|---|------------------------|
| 1 | 市町村のホームページ | 2 | インターネット、行政比較ポータルサイト |
| 3 | 実際に歩いてみた(現地に赴いた) | 4 | 現在のまちに住む人に聞いてみた(口コミ含む) |
| 5 | 知人に聞いた | 6 | その他（ ） |

問 17 あなたが「住むところ」を決めるうえで、特に重視される点は何ですか。該当するものに、いくつでも○印をつけてください。

| | | | |
|----|---------------------------|----|---------------------|
| 1 | 新しいまちづくりへの動き | 2 | 働く場がある |
| 3 | 文化施設の充実（図書館・文化センター・博物館など） | 4 | 医療機関の充実 |
| 5 | 介護・福祉制度の充実 | 6 | 教育の充実 |
| 7 | 子育てがしやすい環境 | 8 | 公園やスポーツ施設の充実 |
| 9 | 地域コミュニティが活発 | 10 | 防災施設・自宅の防災設備支援制度が充実 |
| 11 | 住宅の広さ・土地や家賃の適正価格 | 12 | 交通の便のよさ |
| 13 | 買い物が便利 | 14 | 外食やレジャーに便利 |
| 15 | その他（ ） | | |

—ご協力ありがとうございました

